

平成19年版

環境報告書

周南市

この環境報告書は、周南市環境基本条例第12条に基づき、平成18年度における市の環境の状況及び環境の保全等に関する施策の実施状況を取りまとめて、公表するものです。

平成19年版「環境報告書」

平成20年3月

発行 周南市

編集 環境生活部環境政策課

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地

TEL：0834 - 22 - 8324

FAX：0834 - 22 - 8325

E-mail：kankyo@city.shunan.lg.jp

周南市HP：<http://www.city.shunan.lg.jp>

環境政策課HP：<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/index.jsp>

はじめに

周南市は、北に緑深き中国山地が走り、そのふもとに美しい田園風景が続き、臨海部に周南コンビナートを有する工業都市としての顔を有しております。

臨海部の環境保全につきましては、長年、市民、事業者、学識経験者、行政の四者が一体となり、相互信頼と自主的な取組みによって、環境汚染の未然防止に成果をあげてまいりました。その歴史的背景を踏まえ、地球温暖化防止をはじめとした地球規模での環境保全にも目を向けた新たな環境保全協定を4月に締結いたします。

また、昨年12月に環境管理システムISO14001を認証取得いたしました。これは、県内で初めて市役所全組織を対象としたもので、周南市の組織が行う事業活動における環境への配慮及び環境保全に関する行動を適切に行うことを目的としています。

今後とも、本システムに取組み、環境保全上の支障を未然に防止することはもちろん、環境への負荷をできるだけ少なくし、持続的な発展が可能な社会づくりをめざし、「環境立市」の実現に向けて、市民、事業者、行政のパートナーシップを深めてまいりたいと考えております。

この報告書は、平成18年度における周南市の環境の現況と基本施策の実施状況等を取りまとめたものです。この報告書を通じて、市民の皆様が、環境問題に関する理解と認識を深めていただき、本市の豊かな自然とかけがえのない地球を守るための具体的な行動の一助となりますことを大いに期待申し上げます。

平成20年3月

周南市長 島津幸男



この標語は、平成16年に河川愛護月間標語公募で最優秀賞(国土交通大臣賞)を受賞された有國遊雲さん(周南市)の作品です。

有國遊雲さんの「川を守ることは、地球全体を守ることに繋がる」との思いがこめられています。

この石碑は鹿野、石船農村公園(石船温泉南側)内にあります。

市のめざす環境像と基本方針

市民が、市の特性をふまえた将来のビジョンを共有し進むべき方向性を理解するため、周南市環境基本計画に「周南市の目指す環境像」を設定しています。そして、市のめざす環境像の実現に向けて、5つの基本方針を設定し、それぞれの基本方針に基本施策を定めています。

周南市の目指す環境像

豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南

～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～

基本方針

1 快適で健全な生活が営めるまちづくり

一人ひとりが日常生活の様式を見直し、環境への負荷を少なくするとともに、地域の自然条件や社会条件と調和した土地利用に努め、快適で健全な生活環境の保全、創出を図ります。

2 人とさまざまな生物が共生できるまちづくり

地域の特性を踏まえ、自然が本来あるべき姿を見だし、自然環境を保全、再生し、健全な生態系の維持、回復を図ります。

3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり

自然の恵みや文化財を利活用しつつ、自然環境や快適環境の保全、再生を図るとともに、地域への愛着心や環境保全意識の向上を図ります。

4 資源が循環する環境にやさしいまちづくり

環境の保全と地域経済の活性化を両立し、地球環境の保全やゼロエミッション社会の構築を図ります。

5 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり

各主体がそれぞれの立場で自主的かつ積極的に環境問題について取り組み、環境保全活動の充実を図ります。

出典「周南市環境基本計画」

周南市環境基本計画の推進体系

快適で健全な生活が営めるまちづくり

- 公害の未然防止対策の推進
- 大気環境の保全
- 水環境の保全
- 騒音・振動の防止対策の推進
- 土地利用の適正化

人とさまざまな生物が共生できる まちづくり

- 生物多様性の確保
- 自然環境の保全

市民

事業者

周南市の目指す環境像

豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南

～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～

自然や文化と身近にふれあえる まちづくり

- 自然環境の活用
- 自然とのふれあいの推進
- まちの景観や文化財の保全
- 身近な緑の保全・創出

資源が循環する環境にやさしい まちづくり

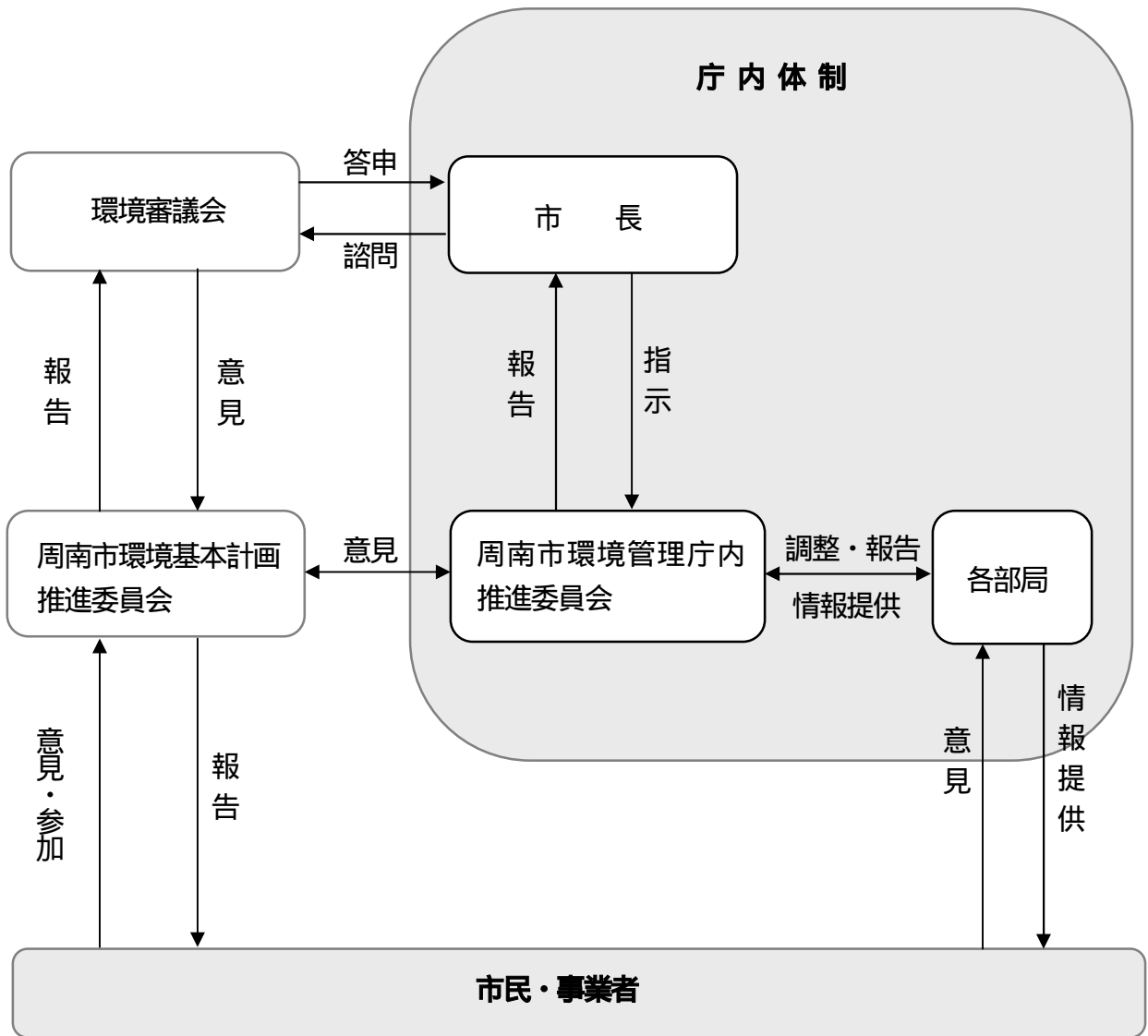
- 循環型社会の構築
- 環境と経済が好循環する
まちづくりの推進
- 地球環境の保全

市

一人ひとりが環境について考え行動 するまちづくり

- 環境教育・環境学習の推進
- 環境配慮行動の推進
- 環境美化活動の推進

周南市環境基本計画の推進体制



目 次

河川愛護月間標語
市の目指す環境像と基本方針
周南市環境基本計画の推進体系
周南市環境基本計画の推進体制
目次
環境の現状と目指す環境像の実現に向けた施策の実施状況	

1. 快適で健全な生活 が営めるまちづくり

環境の現況	2
施策の実施状況(平成 18 年度)		
1 公害の未然防止対策の推進	9
2 大気環境の保全	10
3 水環境の保全	11
4 騒音・振動の防止対策の推進	13
5 土地利用の適正化	13
実施例の紹介	14

2. 人とさまざまな生物 が共生できるま ちづくり

環境の現況	18
基本施策の実施状況(平成 18 年度)		
1 生物多様性の確保	21
2 自然環境の保全	22
実施例の紹介	23

3. 自然や文化と身近 にふれあえるま ちづくり

環境の現況	26
基本施策の実施状況(平成 18 年度)		
1 自然環境の活用	30
2 自然とのふれあいの推進	31
3 まちの景観や文化財の保全	32
4 身近な緑の保全・創出	33
実施例の紹介	34

4. 資源が循環する環 境にやさしいま ちづくり

環境の現況	40
基本施策の実施状況(平成 18 年度)		
1 循環型社会の構築	44
2 環境と経済が好循環するまちづくりの推進	45
3 地球環境の保全	47
実施例の紹介	49

5. 一人ひとりが環境 について考え行 動するまちづくり

環境の現況	54
基本施策の実施状況(平成 18 年度)		
1 環境教育・環境学習の推進	61
2 環境配慮行動の推進	64
3 環境美化活動の推進	65
実施例の紹介	66

1. 快適で健全な 生活が営めるまちづくり



岐山小 5年 伊藤未由来さん



熊毛中 3年 坂田未来さん



熊毛中 3年 小林一樹さん



太華中 1年 永田明子さん

環境の現況

1 公害苦情の現状

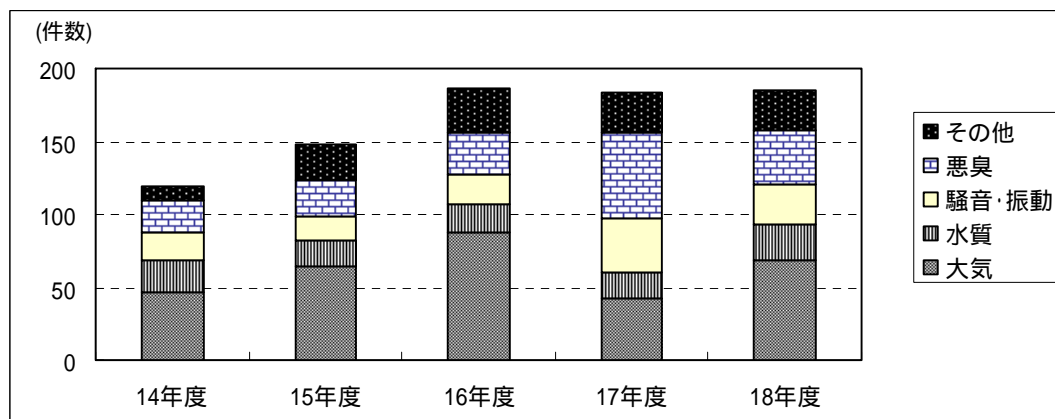
従来の事業活動に伴う公害苦情だけでなく、野焼きなど市民の皆さんの生活に関する苦情が増加する傾向にあります。

市は、山口県周南健康福祉センターとの連携により、解決するよう努めています。

被害地域の用途地域別の公害苦情受付件数

被害地域の 区分	苦情の種類									合計
	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	振動	地盤 沈下	悪臭	廃棄物 投棄	その他	
住居地域	34	10	0	17	1	0	15	5	3	85
近隣商業地域	4	0	0	3	0	0	2	0	0	9
商業地域	2	2	0	0	0	0	4	0	4	12
準工業地域	12	7	0	4	1	0	7	1	5	37
工業地域	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
工業専用地域	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
その他の地域	15	5	0	2	0	0	7	7	3	39
合計	68	25	0	26	2	0	36	13	15	185

公害苦情受付件数の推移



平成 18 年度に市が新規に受付けた苦情件数は 185 件で、近年増加傾向にあります。苦情の種類においては、大気汚染に関する苦情が 68 件と一番多く、以下、悪臭、騒音、水質汚濁の順でした。

被害地域は住居地域が 85 件と一番多くなっています。

2 大気関係の環境基準等達成状況

環境基準等の達成状況

大気汚染は、石炭などの化石燃料の大量消費、自動車などの排気ガスが原因とされています。

市内には、一般環境中の大気汚染について5局、自動車による大気汚染について1局の測定局があり、県が常時監視しています。

平成18年度の一般環境大気測定局における環境基準の達成状況は、二酸化硫黄及び二酸化窒素は環境基準を全測定局で達成していました。浮遊粒子状物質については、短期的評価が全測定局で環境基準を達成していません。光化学オキシダントについては、全測定局（周南市役所、新南陽公民館）で環境基準を達成していません。非メタン炭化水素についても、全測定局（周南市役所、新南陽公民館）で指針を達成していません。

自動車排出ガス測定局の辻交差点では、一酸化炭素は環境基準を達成していましたが、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の短期的評価において達成しておらず、非メタン炭化水素においても指針を達成していません。

大気測定局位置図



大気環境基準等達成状況

測定局	二酸化硫黄		二酸化窒素	一酸化炭素	浮遊粒子状物質		光化学オキシダント	非メタン炭化水素
	長期的評価	短期的評価			長期的評価	短期的評価		
一般大気測定局								
1	櫛浜支所					×		
2	徳山商工高校					×		
3	周南市役所					×	×	×
4	浦山送水場					×		
5	新南陽公民館					×	×	×
自動車排ガス測定局								
6	辻交差点		×			×		×

○：環境基準等達成 ×：環境基準等超過 △：測定していません。 (山口県調査)
 非メタン炭化水素については、国の指針の達成状況を示します。

3 水質関係の環境基準達成状況

河川の環境基準達成状況

市内の河川のうち、錦川、島田川、富田川、夜市川及び佐波川の5河川について環境基準が決められています。

各河川とも平成18年度は、大腸菌群数以外の項目は環境基準を達成しています。

河川の環境基準達成状況

河川名	調査地点	類型	達成状況	適合率			
			BOD	pH	SS	DO	大腸菌群数
錦川	垂門橋	A	達成	100 %	100 %	100 %	25.0 %
夜市川	湯野国際観光ホテル前の井堰	A	達成	100 %	100 %	100 %	0.0 %
	常盤橋	B	達成	100 %	100 %	100 %	50.0 %
富田川	横矢堰	A	達成	100 %	100 %	100 %	50.0 %
	新開橋	B	達成	100 %	100 %	100 %	50.0 %

出典：環境白書 参考資料集 山口県環境生活部

- ・適合率[%] = (総検体数 - 環境基準を超えた検体数) / 総検体数 × 100
- ・BODは、微生物が水中の有機物質を酸化分解するために必要な酸素量で、大きいほど汚れています。BODの環境基準評価は、75%水質値により判断します。
- ・pHとは、水素イオン濃度のことで、7が中性、7をこえるとアルカリ性、7未満は酸性です。
- ・SSは、粒径2mm以下の水に溶けない物質の総称で、大きいほど水がにごっていることを示します。
- ・DOは、水中の溶存酸素量を表わし、河川、海域、湖沼の汚濁指標として環境基準に用いられます。

市は、環境基準のない市内の中小25河川、29地点で独自に水質を調査しています。各地点のBODを環境基準と照らして評価すると、B類型に相当する水質が1地点、A類型に相当する水質が11地点、AA類型に相当する水質が17地点でした。

海域の環境基準達成状況

徳山湾では、県が定めた環境基準点が11地点あり、汚濁状況の調査が行われています。A類型、B類型のCODは、環境基準を達成していません。

海域の環境基準達成状況

海域名	COD 類型	T-P・T-N 類型	達成状況		
			COD	T-N	T-P
徳山湾	A		未達成	達成	達成
	B		未達成		
	C		達成		

出典：環境白書 参考資料集 山口県環境生活部

- ・CODは、水中の汚濁物質が化学的に酸化するときに必要な酸素量で、大きいほど汚れています。CODの環境基準評価は、75%水質値により判断します。
- ・T-N(全窒素)は、いろいろな化合物の形で水の中に含まれる窒素を、窒素だけの重さで表したものです。
- ・T-P(全リン)は、いろいろな化合物の形で水の中に含まれるリンを、リンだけの重さで表したものです。

市は、環境基準点以外に徳山湾の10地点で、生活環境項目の水質汚濁状況を調査しています。各地点のCODを環境基準と照らして評価すると、C類型に相当する水質が4地点、B類型に相当する水質が6地点でした。

《 1 快適で健全な生活が営めるまちづくり》

湖沼の環境基準達成状況

市内の湖沼は、県が定めた環境基準点が4地点あり、汚濁状況の調査が行われています。高瀬湖では、自然由来と考えられる砒素が検出され、健康項目の環境基準を達成していません。高瀬湖のCOD、菊川湖のT-N、菅野湖、菊川湖、米泉湖のT-Pは環境基準を達成していません。

湖沼の環境基準達成状況

湖沼名	COD 類型	T-P・T-N 類型	達成状況		
			COD	T-N	T-P
菅野湖	A		達成	-	未達成
菊川湖	A		達成	未達成	未達成
高瀬湖	A	-	未達成	-	-
米泉湖	A		達成	-	未達成

出典：環境白書 参考資料集 山口県環境生活部

地下水の環境基準達成状況

県では地下水質の概況を把握するため、地下水汚染の有無を確認する調査を年1回実施しています。平成18年度には、市内の20地点で調査が実施され、環境基準を超過した地点はありませんでした。

また、県では地下水汚染地区の周辺において地下水汚染の継続的な監視を行うための調査を実施しています。平成18年度には、市内の8地点で調査が実施され、3地点でテトラクロロエチレンの環境基準を超過していました。

地下水の環境基準達成状況（定期モニタリング調査）

項目	調査地点数	検出井戸数	超過井戸数	検出最大濃度
シス-1,2-ジクロロエチレン	6	3	0	0.032 mg/l
トリクロロエチレン	8	3	0	0.017 mg/l
テトラクロロエチレン	8	6	3	1.0 mg/l

出典：環境白書 参考資料集 山口県環境生活部

《 1 快適で健全な生活が営めるまちづくり》

赤潮の発生状況

徳山湾では、平成 18 年度に赤潮の発生が 5 回確認されています。このうち、2 回は赤潮注意報・警報が発令されました。

赤潮の発生状況

	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	最大面積	発生水深	最高細胞数	注意報等の発令	漁業被害
1	4/7 ~4/10	防府市から光市沖	ノリカ シンテリス	2.5	表層	602		なし
2	6/1 ~6/19	徳山湾	ヘロンガマ アカオ	5	表層	83,200	注意報・警報	なし
3	7/14 ~8/3	周南市から下松市沿岸	カニア ミキトイ	85	表層	197,600	注意報・警報	あり
4	10/3 ~10/6	徳山湾	ケラチウム フルカ	3.5	表層	565		なし
5	10/4 ~10/6	徳山湾	ヘロンガマ アカオ プロケントム ツリエステム	0.002	表層	2,265 1,575		なし

出典：環境白書 参考資料集 山口県環境生活部

4 騒音振動関係の環境基準達成状況

環境騒音の環境基準達成状況

市は、環境騒音を市内の 15 地点で測定しています。平成 18 年度で昼間、夜間とも環境基準を達成したのは、道路に面しない地域で 3 地点（達成率 50%）、道路に面した地域で 2 地点（達成率 67%）、幹線道路に面した地域で 1 地点（達成率 50%）でした。

環境基準達成状況

類 型		調 査 地点数	環 境 基 準 適 合			昼間・夜間と も環境基準 を超過
			全区分	昼間のみ	夜間のみ	
道路に面 していない地域	A 地域	2	1	1	0	0
	B 地域	2	0	1	0	1
	C 地域	2	1	0	0	0
道路に面 する地域	A 地域のうち 2 車線以上の車 線を有する道路に面する地域	2	2	0	0	0
	B 地域のうち 2 車線以上の 車線を有する道路に面する 地域及び C 地域のうち車線 を有する道路に面する地域	4	2	1	1	0
道路に面する地域で幹線交通を担う道路に 近接する空間		2	1	1	0	0
指定地域外		1	-	-	-	-

自動車騒音・振動の要請限度達成状況

市は、主要な 5 路線で自動車騒音を 9 地点、振動を 3 地点で測定しています。騒音は国道 2 号の 1 地点で夜間に要請限度を超えていました。振動は、すべての地点で要請限度を下回っていました。

要請限度適合状況

区 分	路 線 名	調 査 地点数	要 請 限 度 適 合			昼間・夜間と も要請限度超
			全区分	昼間のみ	夜間のみ	
騒 音	国道 2 号	2	1	1	0	0
	国道 315 号	1	1	0	0	0
	県道下松新南陽線	3	3	0	0	0
	県道徳山新南陽線	1	1	0	0	0
	山陽自動車道	2	2	0	0	0
振 動	国道 2 号	1	1	0	0	0
	県道下松新南陽線	1	1	0	0	0
	県道徳山新南陽線	1	1	0	0	0

・要請限度とは、自動車による騒音や振動により、道路周辺の生活環境が著しくそこなわれている場合、市町村長が公安委員会や道路管理者に必要な措置の要請や意見をのべることができる限度をいう。

5 下水道、集落排水の普及状況

平成 19 年 3 月末における公共下水道の水洗化率は 94.4%、普及率は 83.6%でした。
また、集落排水の水洗化率は 76.4%でした。

公共下水道の整備状況

地 域	行政区域人口	処理区域人口	水洗化人口	水洗化率	普及率
徳山	100,762 人	83,103 人	77,768 人	93.6 %	82.5 %
新南陽	32,340 人	30,896 人	29,871 人	96.7 %	95.5 %
熊毛	16,380 人	12,158 人	11,854 人	97.5 %	74.2 %
鹿野	4,175 人	2,334 人	1,840 人	78.8 %	55.9 %
周南市全体	153,657 人	128,491 人	121,333 人	94.4 %	83.6 %

- ・普及率とは、(処理区域人口/行政区域人口)の割合です。
- ・水洗化率とは、(水洗化人口/処理区域人口)の割合です。

集落排水の整備状況

処理区	処理区域面積	処理区域人口	水洗化人口	水洗化率
山手	130 ha	3,580 人	2,770 人	77.4 %
須々万	50 ha	1,272 人	1,211 人	95.2 %
高瀬	18 ha	230 人	199 人	86.5 %
八代	14 ha	610 人	169 人	27.7 %
給島	13 ha	446 人	339 人	76.0 %
周南市全体	225 ha	6,138 人	4,688 人	76.4 %

6 緑地面積の推移

平成 18 年度末の農業振興地域農用地区域の面積は 2,597 ha です。また、緩衝緑地面積は 80 ha となっています。

農業振興地域農用地区域の内訳

(単位：ha)

総面積	農 用 地						混牧 林地	農業 施設 用地	山林 (農地と して利 用予定)
	農 地				採 草 放牧地	計 (農用地)			
	田	畑	樹園地	計 (農地)					
2,597	2,214	224	106	2,544	48	2,592	0	5	0

農業振興地域農用地区域の年度別の推移

(単位：ha)

年 度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
総面積	2,719	2,717	2,716	2,721	2,597

基本施策の実施状況

1 公害の未然防止対策の推進 目標：公害の未然防止に努め、快適な生活環境を保全します。

公害防止対策の整備						
<ul style="list-style-type: none"> 公害防止協定の締結状況 (継続) 		市と企業は、公害を未然に防止し、住民が健康で快適な生活を営むことができる良好な環境を保全するため、公害防止協定を結んでいます。				
協定締結内容			協定締結数			
公害防止協定			44 社			
公害防止協定に基づく細目協定			33 社			
<ul style="list-style-type: none"> 第 7 次周南地域公害防止計画 (継続) 		環境基本法に基づき、公害が著しい、または発生の恐れがある地域における公害防止の総合的な計画です。				
対象地域	周南市、防府市、下松市					
実施期間	平成 16 年度 から 平成 20 年度					
実施項目	大気汚染、水質汚濁、騒音関係の達成されていない環境基準の達成の施策を推進します。					
<ul style="list-style-type: none"> R C 地域対話の実施状況 (レスポンスブル・ケア)(継続) 		R C は、企業が製品開発から廃棄に至る全ての過程で、自主的に環境・安全・健康を確保し、社会からの信頼性向上とコミュニケーションを行う活動です。				
地域対話の種類			実施状況			
各企業の R C 地域対話			平成 18 年度は 7 企業が開催しました。			
山口東地区 R C 説明会			9 月 8 日ホテルサンルートで開催し 166 人が参加しました。			
調査・監視体制の整備						
<ul style="list-style-type: none"> 公害防止協定に基づく自主監視 の実施状況 (継続) 		公害防止協定に基づく細目協定の締結企業は、水質、騒音・振動等について、自主監視を実施しています。				
項目	企業数	測定地点数	協定の順守状況			
水質	20 社	37 排水口	1 つの排水口で守られていませんでした。			
騒音・振動	24 社	89 地点	全ての測定点で守られていました。			
<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会の審議状況 (継続) 		周南市環境審議会は周南市環境審議会条例に基づき設置され、環境の保全に関する事項を調査・審議します。				
環境審議会の開催回数		平成 18 年度は 3 回開催されました。				
諮問・報告の件数		諮問事項 4 件、報告事項 4 件が審議されました。				
化学物質の適正な管理						
<ul style="list-style-type: none"> P R T R 制度 (継続) 		P R T R 制度は、事業者が有害な化学物質の環境中の排出量及び事業所外への移動量を国に報告し、国がそれらの量を把握・集計・公表する仕組みです。				
環境中への排出量				事業所外への移動量		合計
大気	水域	土壌	埋立	下水道	廃棄物	
684,350	474,391	0	0	0	4,258,989	5,417,730
山口県調査より(周南市分) (単位: k g /年)						

公害苦情の対応

・ 公害苦情の対応件数及び継続件数（継続）

苦情の対応では、直接対応 143 件、他機関へ移送 8 件、翌年度繰越 0 件、その他 34 件でした。

受付けた苦情の発生源は、会社・事業所 83 件、個人 48 件、その他 6 件、不明 48 件でした。また、発生原因は、野焼き 51 件、施設での焼却 7 件、工事・建設作業 21 件、その他 87 件、不明 19 件でした。

2 大気環境の保全

目標：快適な大気環境を保全・創出し、環境基準の達成を目指します。

自動車排ガス対策の推進

・ 市役所低公害車の導入状況
（継続）

市の公用車は、市が所有する公用車と、リース契約による公用車があります。

低公害車の種類	平成 18 年度 導入台数	平成 18 年度末 保有台数	内 訳
ハイブリッド車	なし	2 台	乗用タイプ 1 台 ワゴンタイプ 1 台

・ エコドライブの啓発活動（新規）

平成 17 年度に作成した「車を環境配慮するためのガイドライン」をもとに、ケーブルテレビの「市政だより」にて、平成 18 年 9 月 16～30 日にエコドライブの普及啓発番組「エコドライブで地球にやさしく」を放映しました。

詳しくは、1- - 「エコドライブの普及促進」P15 をご覧ください。

事業所の排気ガス対策の推進

・ 排ガス中のダイオキシン類の調査結果
（継続）

市は、公害防止協定に基づき、企業の排ガス中のダイオキシン類を測定しています。

山口エコテック(株)の脱ダイオキシン炉で、排ガス中のダイオキシン類の濃度を測定。協定値は守られていました。

悪臭防止対策の推進

・ 工場における悪臭測定の実施（継続）

市は、日本ゼオン(株)、(株)徳山オイルクリーンセンター、徳山中央浄化センターにおいて、1年に1回、悪臭を測定しています。

3 水環境の保全

目標：快適な水環境を保全・創出し、環境基準の達成を目指します。

生活排水対策の推進

・ 下水道の整備状況（継続）

生活排水の処理には、下水道、集落排水などの集合処理と浄化槽（合併処理）の個別処理があります。

平成 19 年 3 月末現在

種 類	行政人口	水洗化人口	水洗化戸数	行政人口に対する割合
公共下水道		121,333 人	51,716 戸	
集落排水		4,688 人	1,718 戸	
計	153,657 人	126,021 人	53,434 戸	82.0 %

・ 水洗化融資制度の実施状況
（継続）

公共下水道などのトイレの水洗化を促進するため、トイレの水洗化資金の融資あっせん和利子補給を行っています。

処理名称	融資あっせん申請者数	利子補給者数
公共下水道	2	15
集落排水	2	1
計	4	16

・ 浄化槽設置補助の実施状況
（継続）

公共下水道及び集落排水の処理区域でない地域の家庭に浄化槽設置に対する補助を行っています。

平成 18 年度の補助件数

5 人槽	7 人槽	10 人槽	合 計
26 基	26 基	0 基	52 基

《 1 快適で健全な生活が営めるまちづくり》

事業場の排水対策の推進		
・工場排水の調査測定結果（継続） 市と企業は、公害防止協定を結び、企業の排水の水質を調査しています。		
検 査 項 目	調 査 地 点 数	協 定 値 超 過 数
排水量、水温、pH（水素イオン） COD（化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質） T-P（全磷）	26 地点	0
T-N（全窒素）	13 地点	0
PCB	1 地点	0
地下水の保全対策の推進		
・【再掲】		
1 - - 3 - 「地下水の環境基準達成状況」P5 をご覧ください。		
健全な水環境の保全		
・公共施設の浸透性舗装の施工状況 市道や公共施設に透水性の舗装を行っています。		
（継続）		
平成 19 年 3 月末現在		
名 称	施 工 数 量	
市道等の透水性舗装	9,840.5 m	
市道等のインターロッキング施工	5,365.7 m	
周南緑地、周南緑道の透水性舗装	6,016 m ²	

・インターロッキングは、舗装用のブロックです。アスファルトやコンクリートなどに比べ水はけが良く見た目にも美しい舗装方法です。

4 騒音、振動の防止対策の推進

目標：快適な音環境を保全・創出し、環境基準の達成をめざします。

自動車の騒音・振動対策の推進

- ・排水性舗装の施工状況（継続）
排水性舗装には、付加価値としてタイヤによる走行騒音を減少する効果があります。

平成 18 年度の実施策はありませんでした。

- ・【再掲】エコドライブの啓発活動（新規）

1 - - 2 - 「エコドライブの啓発活動」P10 をご覧ください。

事業場の騒音・振動対策の推進（継続）

- ・工場騒音、振動の調査結果
市は、企業と締結した公害防止協定に基づき年 1 回の立ち入り調査を実施しています。

項目	測定企業数	測定地点	協定値超過数
騒音、振動	24 社	89 地点	0

5 土地利用の適正化

目標：土地利用の適正化を図り、快適な生活環境を維持・創出します。

計画的な土地利用の推進（新規）

- ・計画的な土地利用の推進

都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定のための市民アンケート（環境的設問もあり）を実施しました。周南市の課題やよいところについて調査し、将来のまちづくりに反映させていきます。

（一般）	市内に住む 16 歳以上 3,000 人を対象	1,136 票回答
（中学生）	市内 9 校を対象（749 票配布）	680 票回答

快適な生活環境の維持・創出

- ・緩衝緑地面積の整備状況（拡大）

周南市緑地公園において、「市庭球場」の再整備、周南フレンドパークの整備を行いました。

周南フレンドパークは、周南市の誕生を記念して、小さな子どもから高齢者まで幅広い市民の方が楽しめる憩いの場として整備され、約 40m のローラーすべり台など沢山の遊具を組み合わせた大型複合遊具やターザンロープなどがあります。



【周南フレンドパーク】

実施例の紹介

下水道の整備状況

下水道は、雨水による浸水を防ぎ、汚水の処理をして、河川の水質を保全するなど、快適で衛生的な生活をするために必要不可欠な公共財産です。

市の下水道等の整備状況は次のとおりです。

1日も早い普及率 100%の達成をめざしています。

下水道等の整備状況

	行政区域 人口 A	認可区域 面積	処理区域 面積	整備済 管渠延長	処理 人口 B	普及率 B/A (%)
公共下水道		3,976 ha	2,953	725.7km	128,491 人	83.6%
集落排水事業		279 ha	247	72.4 km	6,138 人	4.0%
合併浄化槽					4,743 人	3.1%
合計	153,657 人	4,255 ha	3,200	798.1 km	139,372 人	90.7%

公共下水道には特定環境保全公共下水道を含む。

(平成19年4月1日現在)

公共下水道

地域	事業名	事業着手	処理場	処理開始
徳山	公共下水道	昭和23年	徳山中央浄化センター	昭和41年
		昭和57年	徳山東部浄化センター	平成2年
	特定環境保全公共下水道	平成元年	新南陽浄化センター	平成9年
新南陽	公共下水道	昭和48年	新南陽浄化センター	昭和54年
		平成5年	新南陽北部浄化センター	平成8年
熊毛	公共下水道	昭和55年	周南流域下水道	昭和63年
鹿野	特定環境保全公共下水道	平成7年	鹿野浄化センター	平成11年

集落排水事業

地域	地区名	事業着手	処理場	処理開始
徳山	山手	平成7年	須々万中央地区浄化センター	平成12年
	須々万市	昭和59年	須々万市地区浄化センター	昭和63年
	梶島	平成5年	徳山東部浄化センター	平成10年
新南陽	高瀬	平成8年	高瀬地区浄化センター	平成12年
熊毛	八代	平成14年	八代地区浄化センター	平成18年

エコドライブの普及促進

平成 17 年度に作成した「車を環境配慮するためのガイドライン」をもとに、ケーブルテレビの「市政だより」にて、平成 18 年 9 月 16～30 日にエコドライブの普及啓発番組「エコドライブで地球にやさしく」を放映しました。また、市職員交通安全講習会の機会にエコドライブ講座の実施や、当ガイドラインの配布により、普及促進に努めました。



普及啓発番組「エコドライブで地球にやさしく」のひとコマ



当ガイドラインの入手は、環境政策課 窓口または下記HPでダウンロード。
<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/guide/ecodrive.jsp>

2. 人とさまざまな生物が 共生できるまちづくり



菊川中 2年 井上海帆さん



熊毛中 1年 藤井美那さん



高水小 1年 山下陽介さん



福川南小 1年 川崎優作さん

環境の現況

1 ナベツルの飛来状況

ナベツルの飛来数の推移

ナベツルは、国の特別天然記念物で山口県の県鳥でもあります。周南市八代盆地はナベツルが本州で唯一越冬する場所ですが、近年、ツルを取り巻く環境の変化により渡来数の激減が危惧されています。

ナベツルの飛来状況

年度	飛来数	うち幼鳥	飛来日	渡去日	備考
昭和 15 年	355				最大飛来数
昭和 48 年	134		10 月 30 日	3 月 8 日	マナヅル 1
昭和 49 年	102		10 月 23 日	3 月 2 日	
昭和 50 年	108		10 月 28 日	3 月 2 日	マナヅル 1
平成 12 年	21	7	10 月 22 日	3 月 13 日	
平成 13 年	17	5	10 月 28 日	3 月 13 日	
平成 14 年	12	4	10 月 22 日	3 月 10 日	
平成 15 年	11	2	10 月 25 日	3 月 19 日	15 羽が飛来
平成 16 年	13	4	10 月 27 日	3 月 19 日	14 羽が飛来
平成 17 年	13	4	10 月 23 日	3 月 24 日	16 羽が飛来
平成 18 年	9	3	10 月 25 日	3 月 20 日	16 羽が飛来

保護ツルの状況

鹿児島県出水市と周南市が連携して、保護ツルが発生した場合に移送・飼育・放鳥することによって、ナベツルの増羽を図る「八代のツルおよびその渡来地天然記念物再生事業によるツル移送事業」を行っています。この事業は、文化庁や環境省などの関連省庁との協力体制のもとに実施しています。

具体的には、周南市八代ツル保護センター建設（保護ケージ、隔離ケージ、オープンケージ、管理棟）を、平成 20 年度まで実施し、その後、保護ツルの受け入れ（移送）飼育、放鳥を継続的に行っていくものです。

平成 18 年 2 月 25 日に鹿児島県出水市から 3 羽の保護ツルが周南市八代盆地に移送され、平成 19 年 3 月 3 日に放鳥しました。



【保護ツル】



【保護ツルの放鳥】

2 自然環境の状況

国立公園、県立自然公園の指定状況

自然公園法により、すばらしい自然の風景を守るとともに、その利用の拡大をすすめることで国民が健康を保ち、体を休めることができ、そして学ぶことができるように、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園が定められています。

市域では、自然公園として「瀬戸内海国立公園」と「石城山県立自然公園」が指定されています。平成 18 年度に新たな指定はありません。

瀬戸内海国立公園の指定の状況

(単位：ha)

	第 1 種特別地域	第 2 種特別地域	第 3 種特別地域	普通地域
面積	0.03	58	423	1,124
場所	岩島	太華山、樺島 洲島	黒髪島、仙島、 中ノ島、西ノ島、 竹島	馬島等

出典：面積は平成 14 年度山口県林業統計要覧より

石城山県立自然公園の指定の状況

(単位：ha)

	第 2 種特別地域	第 3 種特別地域	普通地域
面積	51	241	357
場所	黒岩峡周辺等		

出典：面積は平成 14 年度山口県林業統計要覧より

森林面積の推移

市域では、森林面積が行政区域面積に占める割合は 78% となっています。

林野面積の推移

(単位：ha)

年 度	林 野 面 積		
	合 計	森 林	原 野
平成 7 年度	49,818	49,685	133
平成 12 年度	49,756	49,632	124
平成 17 年度	51,363	51,204	159
平成 18 年度	51,184	51,031	154

出典：山口県林業統計要覧

単位以下の数値を四捨五入したため、合計数値と内訳の計が一致しない場合があります。

3 人工林、天然林の面積の推移

森林には、苗木の植栽や、播種、挿し木などにより人が更新させた人工林と、自然散布された種子や萌芽などにより更新した天然林があります。

人工林と天然林面積の推移

(単位：ha)

年 度	合 計	人工林	天然林
平成 7 年度	46,416	23,088	23,328
平成 12 年度	46,450	23,618	22,832
平成 17 年度	47,927	24,374	23,553
平成 18 年度	49,772	24,386	23,321

出典：山口県林業統計要覧

但し、タケ、無立木地、更新困難地は除きました。

単位以下の数値を四捨五入したため、合計数値と内訳の計が一致しない場合があります。

基本施策の実施状況

1 生物多様性の確保

目標：野生生物の保護に努め、生物多様性を確保します。

野生生物の生育・生息環境の把握（新規）

八代では、地元保護団体と連携して、冬期湛水やドジョウの養殖など自然にやさしい環境づくりがスタートしています。

野生生物の保全対策の推進

・ナベツルのねぐらと餌場の整備（継続）

八代では、ボランティアの皆さんによって、毎年、ナベツルのねぐらと餌場の整備が行われています。平成 18 年度は、10 月 7 日に実施され、200 人の参加がありました。八代以外からも多くの皆さんが参加されました。

・生きもの与人・共生の里を考える会議（新規）

世界初のナベツル移送を行い、渡来数の回復をめざす周南市、トキの人工繁殖や野生復帰に取り組む佐渡市（新潟県）、日本初のコウノトリの野生復帰を成功させた豊岡市（兵庫県）、地域ぐるみでナベツルの保護をする出水市（鹿児島県）が、5 月 27 日に県総合庁舎で、情報や交流を行う会議が開催されました。

会議では各市の取り組みの現状と課題が発表され、生き物と人の共生関係を築く取り組みを継続し、情報を共有する「生きもの与人・共生の里」周南宣言が採択されました。



【生きもの与人・共生の里を考える会議】

外来生物の防除対策の推進（新規）

公園愛護会、NPO法人、町内会により、公園・道路側の緑地帯・法面に生えている外来生物の防除対策を進めています。

外来生物とは

もともとその地域にいなかったのに人間活動によって他地域から入ってきた生物のことを指します。

2 自然環境の保全

目標：天然林や自然海岸など、自然本来の姿を保全します。

天然林の保全対策の推進（継続）

平成 18 年度における実施施策はありません。

自然海岸の保全対策の推進

・自然海岸の対策の推進（継続）

平成 11 年 9 月に来襲した台風 18 号により、甚大な高潮浸水被害を受けた徳山下松港大津島地区の離岸堤、護岸の改良整備を行っています。

対象地域	徳山下松港大津島地区 瀬戸浜、馬島、三ツ石
------	-----------------------

実施期間	平成 13 年度 から 平成 21 年度
------	----------------------

自然に配慮した開発の推進

・環境影響評価の実施状況（継続）

環境影響評価は、大規模な建設事業等が周辺の自然環境，地域生活環境、社会文化環境等に与える影響について、環境の構成要素の項目（大気、水、日影、電波障害等）ごとに調査，予測・評価を行うものです。

平成 18 年 7 月 26 日に開催された周南市環境審議会において、東ソー株式会社南陽事業所「東ソー南陽事業所第 2 発電所第 6 号発電設備建設計画環境影響評価書」について、報告がありました。

なお、平成 18 年 12 月 25 日には、（株）トクヤマ徳山製造所「徳山製造所東発電所第 3 号発電設備計画に係る環境影響評価方法書」について、審議されました。

実施例の紹介

ねぐら・餌場整備の状況（市民との協働事業）

八代におけるナベヅル保護の歴史は古く、日本における自然保護の発祥の地といわれています。その八代からナベヅルが消えようとしています。地元や周南市では、八代からナベヅルの姿を消さないようにするために、さまざまな取組みをしています。

その一環として、ナベヅルのねぐらの整備や餌場の整備が行われています。



【餌場の整備】

稲刈後の脱穀の手伝いをしている子どもたち



【ねぐらの整備】

ねぐらの整備をするボランティアの皆さん

大津島地区離岸堤、護岸等の改良工事

徳山下松港大津島地区は周南諸島の西側に位置する離島であり、平成 11 年 9 月に県内に来襲した台風 18 号により、甚大な高潮浸水被害を受けたところであり、背後地区の生命・財産の防護を図るべく、平成 13 年度から離岸堤、護岸の改良整備を実施している。

- ・事業内容 護岸（改良）、護岸（消波）、胸壁（改良）
- ・事業箇所：周南市大津島
- ・事業主体：山口県
- ・総事業費：28 億 8,500 万円
- ・事業期間：平成 13 年度～21 年度
- ・事業進捗率：85%
- ・平成 20 年度当初予算：2 億 1,000 万円



万葉の森の植生調査 (市民との協働事業)

NPO 法人水環境地域ネットワークにて、西緑地公園内の「万葉の森」での植生調査を行いました。

「万葉の森」が整備された時には、約 60 種類の万葉植物が植えられましたが、環境に適さず絶えていったものや、自分の環境に適した所に移動しながら育っているものもあります。

近年は、繁殖力の強い外来植物（タカサゴユリやメルケンカルカヤ等）が、「万葉の森」にも侵入しています。

また草本類の観察会を実施し、沢山の参加者がありました。

西緑地は、コンビナートから 1 キロしか離れていない自然豊かな公園で、貴重な草本類や木本類があります。



【調査】

園内の貴重な草本類を観察しました。



【調査】

コドラート調査法で、植生の違いなどを調査しました。

*コドラート調査法とは、一定の方形枠（コドラート）内の植生状況（種類、数等）を調査する方法です。



【大賀ハス】

縄文時代に咲いていたという古代のハス。西緑地では、現在 2000 株が育っています。淡いピンクの大輪を優雅に咲かせます。



【ヤエヤマザクラ】

八重咲きで花びらが品よく 13 枚重なり、木も枝振りも良い大木。樹齢 50 年以上で京都大学演習林時代に植えられました。

3 . 自然や文化と身近に ふれあえるまちづくり



菊川中 3年 木村仁美さん



熊毛中 1年 石倉尚季さん



熊毛中 2年 崎重翔太さん



熊毛中 3年 平田奈津美さん

環境の現況

1 里山ボランティア活動の推進

周南市ボランティア人材バンクは、仕事や趣味を通じて得た知識・技術・特技・資格等を持ち、市内の依頼グループからの要望に基づき助言や指導等ができる市内在住又は在勤のボランティアの皆さんを検索することができます。

環境関連登録数

グループバンク登録数	84 団体
人材バンク登録数	7 人

周南市ボランティア人材バンクのHP

周南市ボランティア人材バンクのHP	http://www.city.shunan.lg.jp/hp/shiencent/shimin/humanbank.php
-------------------	---

2 文化財（国指定、県指定、市指定）の状況

市内には、国指定の文化財が5、県指定の文化財が15、市指定の文化財が63あります。

文化財の指定状況

名 称	文化財数	文化財の名称
国指定	5	大玉スギ 絹本著色陶弘護像 山口県竹島古墳出土品 三作神楽 八代のツルおよびその渡来地
県指定	15	山田家本屋 式内踊 長穂念仏踊 金造菩薩形坐像 若山城跡 金梨子地菊桐紋散雲蒔絵 鞍・鐙 勝栄寺土塁及び旧境内 諫鼓踊 花笠踊 安田の糸あやつり人形芝居 徳修館 潮音洞 秘密尾の氷見神社社叢 須万風呂ヶ原のエノキ 建咲院什物
市指定	63	ホームページで検索してください。 http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kyoiku/ed-shogai/bunkazai/bunkazai.jsp

3 都市公園の数と面積

市内には、市が管理する公園が143公園、171.7haあります。

4 水辺の教室の開催状況

平成 18 年度は水辺の教室を 2 回開催しました。参加者数は、延べ 143 人で、指標生物の確認状況から判定する水質階級は、すべての調査地点が「きれいな水」に該当しました。

水辺の教室開催状況 水生生物の調査結果

調査場所名(No.)		黒岩川(黒岩峡)				島地川(新平ヶ原公園)				
年 月 日(時刻)		7月27日				7月26日				
主催		・教育委員会 ・熊毛総合支所市民生活課				島地川ダム周辺環境整備地区 管理協議会				
参加者数(主催者を含む。)		80人				63人				
天 気		晴れ				晴れ				
水 質		指 標 生 物		見つかった指標生物の欄に 印を、数が多かった上位から2種類に 印をつける。						
きれいな水	水質階級	1. アミカ								
		2. ウズムシ								
		3. カワゲラ								
		4. サワガニ								
		5. ナガレトビケラ								
		6. ヒラタカゲロウ								
		7. ブユ								
		8. ヘビトンボ								
		9. ヤマトビケラ								
少しきたない水	水質階級	1. イシマキガイ								
		2. オオシマトビケラ								
		3. カワニナ								
		4. ゲンジボタル								
		5. コオニヤンマ								
		6. コガタシマトビケラ								
		7. スジエビ								
		8. ヒラタドロムシ								
		9. ヤマトシジミ								
きたない水	水質階級	1. イソコツブムシ								
		2. タイコウチ								
		3. タニシ								
		4. ニホンドロソコエビ								
		5. ヒル								
		6. ミズカマキリ								
		7. ミズムシ								
大変きたない水	水質階級	1. アメリカザリガニ								
		2. エラミミズ								
		3. サカマキガイ								
		4. セスジユスリカ								
		5. チョウバエ								
水質階級の判定	水 質 階 級									
	1. 印と 印の個数		5	3	1	0	4	2	1	0
	2. 印の個数		1	1	0	0	2	0	0	0
	3. 合計(1.欄+2.欄)		6	4	1	0	6	2	1	0
その地点の水質階級		きれいな水				きれいな水				

5 自然体験型の施設の利用状況

大田原自然の家の利用状況

大田原自然の家は、主として、青少年が大田原の自然に親しみながら、集団宿泊生活等を通じて、情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練する中で、青少年の健全育成を図る社会教育施設です。素朴な田舎体験や自然とのふれあいを求める皆さんには最適です。

大田原自然の家の活動状況（平成18年度）

実施内容	開催期日
大地を耕し作物をつくる家族のつどい／野菜・加工品作り、山菜採り、自然遊びなど	4月～12月
キャンプはじめのだいい歩／家族でのアウトドアデビュー支援	4/29～30
おおたばら！げんキッズ／ふれあい遊び、山菜採り、ピザ作りなど	5/7
春のわんぱく村／山菜採り、野外炊飯、ウォークラリー、テント泊など	5/3～5/5
おおたばらどろんこむら／田んぼでどろんこ遊び、サツマイモ植え、川遊び、そうめん流し、イモ堀りなど	5/21、7/17、10/22、1/14
おおたばら食農学校／家族で作物を作り、収穫した後、料理してみんなで食べる	6月～12月
ねんどであそぼう！／灯油窯編、穴窯編	6月～10月
天体教室／星座・星雲などの観察、講話（夏、秋、春開催）	7/29 10/14 3/17
親子木工教室／木を使っての工作	8/6
夏のわんぱく村／川遊び、野外炊事など	8/7～8/11
のびのびいきいき自然児キャンプ／カヌーなどの長期自然体験	8/16～8/25
食農支援ボランティアのつどい／パン窯を活用した料理を作りながらメンバーの輪を広げる	9/24
キャンプカウンセラー研修会／自然の家に関わるカウンセラーの研修	9/31～1
おおたばら・食農食育のつどい／パネル展示、ソバ打ちなど	11/11
おおたばら収穫祭／みんなで収穫作業をし、芋煮など、手作りしたものをいただきます。もちつき、焼き芋、もちまき、バザーなど	11/12
おおたばら！げんキッズ／有機無農薬栽培の小麦を使った窯焼きパン作り体験など	11/19
正月を迎える親と子のつどい／しめ飾りやミニ門松作りなど	12/17
冬の50kmを歩く少年の旅／4日間で班の仲間と冬の50kmを歩く	12/25～12/28
冬のわんぱく村／野外活動を通じて、子どもたちが、たくましさや心の豊かさを身に付ける催し	1/5～1/7
野外教育活動指導者養成講習会／指導者の研修と交流	2/17～2/18
ステップアップキャンプ／大田原自然の家に関わるカウンセラーグループの研修	3/24～25

大田原自然の家の利用状況

年度	団体数	実人数	延べ人数
平成16年度	230 団体	5,807 人	9,886 人
平成17年度	276 団体	6,410 人	11,227 人
平成18年度	237 団体	5,631 人	9,000 人

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》

豊鹿里パークの利用状況

豊鹿里パークは、カルチャースクールやイベント会場として利用できる交流の施設です。年間を通じて農業体験や加工教室などのさまざまな体験プログラムが開催されています。クラインガルテン（農地付宿泊施設）や農地だけの「貸し農園」もあります。

平成18年度は次のような活動を行いました。

豊鹿里パーク体験交流利用実績

実施内容	開催期日	開催回数	参加人数
編み物・染め物教室	4/12.15.24、5/10.21.24、6/7.21、7/5、8/30、9/13、10/4.18、11/29、12/6.13、1/10.24、2/14.28、3/14.28	22回	162人
手作りウィンナー体験	5/13、9/16、11/8、3/11	4回	108人
田植え	5/20	1回	68人
ホテルの夕べコンサート	6/10	1回	485人
ぞうりづくり	6/17	1回	18人
柏餅づくり	6/25	1回	31人
豆腐とおからサラダづくり	7/11.23	2回	43人
川で学ぼう・遊ぼう体験	8/2	1回	129人
夏休み親子チャレンジ体験（木工・ちぎり絵・かごづくり）	8/6	1回	26人
そばの種まき体験	8/20	1回	58人
親子で家畜とのふれあい体験	8/24	1回	53人
立体押し花教室	8/26、9/7、10/18、11/22、12/13、1/24、2/15、3/22	8回	57人
ワインで乾杯「鹿野の秋をつまみんさい」交流会	9/9.10	2回	110人
稲刈り	9/30	1回	57人
そば刈り体験	10/22	1回	47人
いなり・押し寿司づくり	10/29	1回	26人
そばづくりとうみ作業	11/12	1回	5人
そばづくり選別作業	11/15	1回	3人
そば打ち体験	12/10	1回	54人
合計		52回	1,540人

基本施策の実施状況

1 自然環境の活用

目標：自然の恵みを享受しつつ、良好な自然環境の保持・再生を図ります。

森林の保全・活用

- ・やまぐち森林づくり県民税による保全事業の実施（継続）

山口県では、荒廃が深刻化している森林を、適正に維持・管理し、県民共有の財産として次世代に引き継いでいくため、森林の整備を目的とした独自の政策税制として、平成17年4月1日から「やまぐち森林づくり県民税」が導入されました。

（単位：ha）

事業名	実施場所	面積
森林整備事業	大字大潮字ガマガエキ 他	48.2
竹繁茂防止事業	大字大道理字堀坂 他	15.91
合計		64.11

農地の保全・活用

- ・農業体験活動の参加者数（拡大）

豊鹿里パークでは、農業体験交流事業として19の事業が延べ52回開催され、延べ1,540人の参加がありました。

詳しくは、3-5-「豊鹿里パークの利用状況」P29をご覧ください。

水辺の保全・活用

- ・多自然型川づくりの実施（継続）

多自然型川づくりとは、生物の良好な生息・生育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全あるいは創出することです。

長穂の準用河川黒木川は、多自然型の川作りとして、堤防を石張、石積、ブロックマット及び環境保全部型ブロックの工法で平成18年度は100m施工しました。



【河川護岸】

2 自然とのふれあいの推進

目標：身近な自然とふれあいの場を有効活用し、自然とふれあい、マナー向上を目指します。

ふれあいの場の整備

平成 18 年度における実施施策はありません。

ふれあい活動の充実

・ 棚田清流の会親子農業体験交流（継続）

平成 18 年度は、棚田清流の会親子農業体験交流として、年間 5 回開催され、延べ 64 家族、218 人の参加がありました。

詳しくは、3 - - 「棚田清流の会親子体験交流の活動状況」P34 をご覧ください。

・ 森と湖に親しむ集い(新平ヶ原)（継続）

「森と湖に親しむ旬間」の 7 月 26 日、森と湖に親しむ機会を提供することにより、参加者の心身をリフレッシュするとともに、森林やダム、河川等の重要性について理解を深めていただくため、ダム協（主催）及び国土交通省、市（共催）で「森と湖に親しむ集い」を開催しました。

親子 11 組、38 人の参加があり、水辺の教室、あまごの放流、リクレーション等を楽しみました。

・ 豊鹿里パークの利用（拡大）

【再掲】 3 - - 1 - 「農地の保全・活用」 P30 をご覧ください。

・ 動物ふれあいプログラム（継続）

徳山動物園では、平成 17 年度から「ズー夢アップ 21」（ズームアップ 21）と称して動物園の魅力アップをめざした事業を実施しています。

徳山動物園では、「ズー夢アップ 21」の一環として、主に日曜日・祝日に「ズーわくわくサンデー」を実施し、多くの来園者の皆さんに楽しんでいただきました。

イベント名	内 容
ぱくぱくタイム	動物達が餌を食べる様子の来園者による餌やり体験
ポニーとお散歩	ポニーに乗ったり一緒に歩く
ひよこがうまれるよ	孵化直前の卵や、孵化後間もないヒヨコの観察
小動物ふれあいタイム	ウサギ、モルモット、ヒヨコとのふれあい
フライトショー	フクロウ、トビ、ハヤブサなどの猛禽類が間近で飛翔する姿を観察

3 まちの景観や文化財の保全

目標：良好な景観や文化財を保全し、美しい町並みを創出します。

まちの景観の保全・創出

- ・地域景観ワークショップ in 鹿野地区中心部において、日常身近に感じる景観についてワークショップを行い、良好な景観を活用したまちづくりを考えました。
周南の開催(鹿野総合支所)(継続)

	開催日	参加人数	内容
4回	11月18日	46人	過去3回のワークショップで示された、鹿野らしい景観を「守り育てる」ための方策について考えました。

文化財の保存・活用

- ・文化財の保存活動(ツル以外)(継続)

文化財の保護活動として、指定文化財周辺の草刈、文化財防火デーの実施を行いました。



【漢陽寺防火訓練】



【大玉スギ】



【花笠踊】



【本山神事】

4 身近な緑の保全・創出

目標：身近な緑を保全し、快適な緑地環境を創出します。

緑地・公園の整備

・公園の新設、公園内の整備事業の推進（拡大）

公園の新設及び整備工事として、児玉公園（遊具再整備） 周南緑道整備（再整備） 周南緑地整備（再整備） 永源山公園整備（土地購入及び新設） 高水近隣公園整備（土地購入及び新設）を実施しました

・森林保全活動の推進（拡大）

名称	場所	活動内容
ふれあいの森な んでも工房	須々万	ボランティア活動（雑木山の手入れ） 森林環境教育（里山林の散策・自然観察等） 活動拠点づくり（ログハウス建設）
遊友絆の森	金峰	ボランティア活動（植林・したがり・枝打ち） 里山の活用（炭焼き） 地域との交流活動（山菜狩り・山菜料理）
和田さとやまの 会	和田	ボランティア活動（植林） 地域との交流活動（里山林の散策・自然観察・種駒打ち）
まちと森と水の 交流会	鹿野	企業との協働による水源の森づくりボランティア活動（下刈・枝打ち）

出典：山口県ホームページ「やまぐち里山文化構想」

緑化の推進（拡大）

- ・大津島公園及び豊鹿里パークに桜植樹
- ・富田東小学校他9小・中学校に緑化苗配布
- ・金峰山の里交流館にサツキツツジ苗配布

■ 実施例の紹介

柵田清流の会親子農業体験交流の活動状況

良質な「都濃米」の産地として、また、四季折々の美しい景観を有する柵田地帯として知られる中須北地区において、平成14年度から、年間を通して様々な農作業等を親子で体験する「親子農業体験交流」を開始しました。平成18年度には、5月から12月にかけて、田植えや稲刈りのほか、野菜の植え付け、餅つき、こんにゃく作りなどを行い、延べ64家族、218人の参加がありました。自然とのふれあい、地元住民とのふれあいの中で、体験する楽しさ、収穫の喜び、自ら育てた作物の美味しさなど、様々な感動を親子で共有できる取り組みとして参加者に好評を得ています。

また、都市部住民等の参加を得て柵田を守っていくことを目的とした「柵田オーナー制度」にも取り組んでいます。米づくりの指導や農機具の貸出、水の管理など、「柵田清流の会」のバックアップにより、初心者でも安心して米づくりを体験することができます。平成18年度には13組の参加があり、毎年継続する人も増えています。



【稲刈りの状況】

柵田清流の会

柵田清流の会は、中須北5集落全戸を会員とした「柵田清流の会」では、地域の将来ビジョンとして「やすらぎの里づくり憲章」を作成し、地域活動を行っています。清流の会では、オーナー制度と農業体験交流を実施し、都市部住民の余剰労力を借りて、地区の財産ともいべき柵田の保全に努めています。また、会自らも都市部で開催されるイベントに積極的に参加し、柵田保全のPRに努めています。

農業体験交流の活動状況

回数	実施月	活動内容	参加数	
			家族数	人数
1回	5月	田植え、野菜(さつまいも等)苗植付け	16家族	56人
2回	7月	ソーメン流し、竹細工、御田頭祭見学	16家族	58人
3回	8月	そば種まき、じゃがいも植付け、山菜摘み取り	6家族	18人
4回	10月	稲刈り、脱穀、もみすり見学	10家族	31人
5回	12月	収穫祭(餅つき、こんにゃく作り、さつまいも掘り)	16家族	55人
合計			64家族	218人

周南ふれんZOO（ズー）の活動状況

「動物園学習支援ボランティア 周南ふれんZOO（ズー）（以下、ふれんZOO）」は、平成16年度に発足し、動物園がもつ教育（環境教育・生涯学習）の機能を向上させる市民活動を行うグループです。より楽しい動物園づくりをめざし、動物園でさまざまな学習活動を行っています。

平成18年度は、のべ547名が、動物とのふれあい活動のサポートや工作イベントの企画・運営など、多岐にわたる活動に参加しました。

ふれんZOO主催イベント

次に紹介するような、ふれんZOO主催のイベントを開催し、多くの来園者に参加していただきました。

* TOKUYAMA ZOO CLASS（5月から毎月実施）：工作や体験と動物の観察会

実施日	参加者数	タイトル
5月17日(水)	11	ヒマワリが好きな動物たち
5月24日(水)	40	同上
6月14日(水)	46	雨が好きな動物たち
7月19日(水)	32	シロクマって、暑いの大丈夫なの？
7月27日(水)	65	同上
8月25日(水)	56	ゾウさんうんち de 紙をつくるぞう
9月25日(水)	43	ウサギとなかよし
10月18日(水)	53	動物たちに、みのりの秋のプレゼント
11月15日(水)	42	秋の素材でつくろうフクロウ
12月13日(水)	23	寒さもへっちゃらレッサーパンダ
1月24日(水)	41	踊るライオン～ずぼんぼであそぼ～
2月21日(水)	34	ツルよ舞え～ツル型飛行機を作ろう～
3月28日(水)	49	キリンさんのおくりもの ～牛乳パックで肥料を作ろう～



【説明をする様子】



【絵本のよみきかせ】



【工作の指導】

《3 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり》



【クイズ大会】



【動物あての年賀状募集】

動物園主催イベントのサポート

* 来園者の皆さんが、楽しく、安全に、そして学習が円滑に進むよう、動物とふれあったり、動物に餌をあげたりする体験のサポートをしました。



【ヒヨコとのふれあい】



【餌やり体験（ライオン）】

* 小学生対象の飼育体験のイベントのサポート。子ども達のお世話や記録などをしました。



スキルアップのための活動

他の園館の見学会や、勉強会の開催、活動に関連するセミナーへの参加を積極的に行いました。

西緑地公園竹林愛護会の取り組み（市民との協働事業）

西緑地公園竹林愛護会では、「竹の侵入で荒れる公園を自分たちで守ろう」と毎月第4日曜日の午前中に竹の伐採を行っています。

10年前から竹がはびこり、貴重な植物を脅かしはじめました。「公園が荒れるのは余りにも忍びがたい」と竹林愛護会を結成し、伐採をはじめました。

なたや、チェーンソーで伐採した竹を粉砕機でチップにして吹き出します。チップはやがて腐葉土になり、山の肥料になります。その山に生まれた竹をその山に還す自然のリサイクルです。



【整備前】



【整備前】



【整備後】



【整備後】

4 . 資源が循環する 環境にやさしいまちづくり



岐山小 4年 中村達哉さん



岐山小 5年 吉本彩樹さん



岐山小 6年 小林亮予さん



熊毛中 2年 内山和哉さん

環境の現況

1 リサイクル率、最終処分量、市民1人当りのごみ排出量

リサイクル率、最終処分量の状況

平成18年度の一般廃棄物のリサイクル率は30.3%、最終処分場の処分量は15,543トンでした。

市民1人当りのごみ排出量の推移

平成16年度から18年度までの市民1人当りのごみ排出量は次のとおりです。

市民1人当りのごみ排出量の推移

平成16年度	1,210 g/人・日
平成17年度	1,179 g/人・日
平成18年度	1,163 g/人・日

2 不法投棄件数

市域における不法投棄件数の状況

平成18年度における不法投棄の件数は次のとおりでした。

不法投棄件数の状況（環境政策課把握件数）

処 理 内 容		徳山	新南陽	熊毛	鹿野	合計
警察通報	有	6		2		8
	無					0
	計	6	0	2		8
保健所との連携	有	4	6			10
	無					0
	計	4	6	0	0	10
不法投棄防止看板設置	有	25	4	8	1	38
	無					0
	計	25	4	8	1	38
現状復帰をした処理者	投棄者処理					0
	土地所有者・管理者処理	15	4	2		21
	その他(市職員等特別処理)	14		7	4	25
	計	29	4	9	4	46
不法投棄された場所	民有地(山林)	11	7	5		23
	国有地	3			1	4
	県有地	1	2	1		4
	市有地	24	1	4	3	32
	計	39	10	10	4	63

3 自然エネルギー、再生可能エネルギーの利用件数

市内太陽光発電買電契約件数

・太陽光・風力発電余剰電力契約

平成 15 年度（10 月 1 日現在 64,966 世帯 - 住民台帳）における新エネルギー導入に関する意識調査結果では、太陽光発電システムの導入率 1.5%、太陽熱利用システム 19.2%、ペレットストーブ 0.3%、クリーンエネルギー自動車 0.9%でした。（出典：周南市地域新エネルギービジョン）

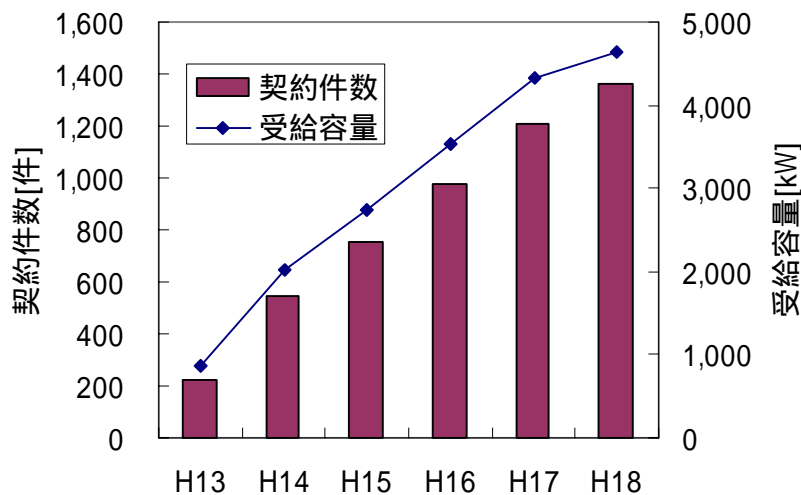
太陽光及び風力発電契約の状況は、下表に示すように平成 18 年度は前年度比 7.2%の増加を示しています。年々の増加率は低下しています。

中国電力周南営業所管轄 内の太陽光・風力発電契約

	契約件数	需給容量	容量増加率
平成 13 年度末	220 件	858 kW	-
平成 14 年度末	545 件	2,028 kW	136.4 %
平成 15 年度末	752 件	2,736 kW	34.9 %
平成 16 年度末	979 件	3,532 kW	29.1 %
平成 17 年度末	1,207 件	4,322 kW	22.4 %
平成 18 年度末	1,359 件	4,637 kW	7.2 %

出典：中国電力(株)周南営業所 電話調査及び周南市新エネルギービジョン
営業所管轄範囲は周南市、下松市、光市、田布施町の一部を含む地域です。

中国電力周南営業所管轄 内の太陽光・風力発電契約の推移



4 市域における温室効果ガス排出量

・市域における温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出の大部分を占めている燃料の燃焼に伴う二酸化炭素排出量について、下表に示します。京都議定書の基準年である平成2年度(1990)と比較し、直近の平成14年度では9.9%増加しています。

各部門における二酸化炭素排出量の推移

(単位：千トン - CO₂)

	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成14年度
産業部門	6,438	6,908	8,624	7,980
(割合)	63.4 %	62.2 %	67.2 %	71.5 %
民生業務部門	207	236	256	255
(割合)	2.0 %	2.1 %	2.0 %	2.3 %
民生家庭部門	227	260	282	281
(割合)	2.2 %	2.3 %	2.2 %	2.5 %
運輸部門	572	636	671	665
(割合)	5.6 %	5.7 %	5.2 %	6.0 %
エネルギー転換部門	2,711	3,064	2,993	1,976
(割合)	26.7 %	27.6 %	23.3 %	17.7 %
合計	10,155	11,104	12,826	11,158
平成2年度比	100.0 %	109.3 %	126.3 %	109.9 %

出典：周南市地域新エネルギービジョン

5 E S C O事業の実施状況

・E S C O事業による公共施設の実施件数

徳山駅前駐車場、代々木公園地下駐車場の2件を、ESCO事業として実施しました。平成17年度に改修工事を行い、平成18年度から省エネサービスが開始されました。

詳しくは、4- - 「市営路外駐車場のE S C O事業の実施状況」P51をご覧ください。

6 市役所における硫黄酸化物と窒素酸化物の抑制

・市役所における硫黄酸化物と窒素酸化物の排出量

硫黄酸化物と窒素酸化物の排出量の算出は、排出量 = (実測) 排出濃度 × 排出ガス量で計算することができます。

大気汚染防止法第 16 条によるばい煙量を測定及び記録データを集計することにより算出できますが、現在のところ、市役所全体をまとめたの大気汚染防止法の届出機器は把握できていません。排出量を算出するための調査を実施しています。

ちなみに、周南市役所全体の一次エネルギー消費量は、平成 18 年度において平成 14 年度比 2.5% 増加しています。

市役所の一次エネルギー消費量の推移は、4 - - 3 - 「酸性雨対策の推進・市役所エネルギー消費量の状況」P48 をご覧ください。

周南市役所全体の一次エネルギー消費量

	一次エネルギー消費量	平成 14 年度比
平成 14 年度	574,695 G J	100.0 %
平成 15 年度	582,157 G J	101.3 %
平成 16 年度	591,213 G J	102.9 %
平成 17 年度	590,629 G J	102.8 %
平成 18 年度	588,877 G J	102.5 %

出典：周南市役所エコ・オフィス実践プラン平成 18 年度実績報告書

<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/job/kankyo/resultinvest.jsp>

G J (ギガジュール): J (ジュール) は熱量を表す国際単位。G (ギガ) は 10 の 9 乗を、M (メガ) は 10 の 6 乗を示す接頭語。

基本施策の実施状況

1 循環型社会の構築

目標：市民、事業者、市が連携し、廃棄物の排出の削減を目指します。

一般廃棄物対策の推進（継続）

- ・ 生ごみ処理器・コンポスト容器への助成

平成 18 年度は、124 基の生ごみ処理器・コンポスト容器への助成を行いました。

- ・ 資源物選別回収報奨金の状況（継続）

平成 18 年度の資源物選別回収報奨金の金額は、3,051,496 円です。

- ・ 効率的なリサイクルシステムの整備（継続）

平成 18 年度の再資源化量は、21,982 トン/年 です。

産業廃棄物対策の推進

- ・ 下水汚泥のリサイクルの状況（継続）

公共下水及び集落排水の処理場から発生する下水汚泥は、コンポスト及びセメントの燃料・原料として有効に利用されています。

リサイクル方法	リサイクル量	割合
コンポスト	2,053 トン/年	32.7 %
セメント燃料・原料	4,230 トン/年	67.3 %
合計	6,283 トン/年	100.0 %

- ・ 公共事業における建設副産物のリサイクル推進（継続）

市の発注する公共工事から発生する建設副産物は、アスファルト・コンクリート塊 コンクリート塊 建設発生木材 建設汚泥 の 4 種類がリサイクルされています。

- ・ 循環型農業の推進（継続）

耕畜連携は、稲作等の耕種農家から畜産農家への稲わら等の提供や畜産農家から耕種農家へのたい肥の提供など、耕種農家と畜産農家の連携による循環型農業の取り組みです。

平成 18 年度の耕畜連携稲わら交換の実施ほ場面積は、約 30ha です。

「もったいない運動」の推進

- ・ 「もったいない運動」の取り組み（継続）

「もったいないのススメ」というコーナーを広報に設け、様々な「もったいない」に関する情報を提供しました。

2 環境と経済が好循環する

目標：環境保全活動が地域経済の活性化につながる仕組みを構築します。

まちづくりの推進

地域特性を活かした環境保全対策の推進

・水素タウンモデル事業の推進（新規）

全国最大規模の水素副生能力を有する周南コンビナートの地域特性を活用し、二酸化炭素を排出しない非改質タイプの燃料電池コージェネレーションシステム（水素供給燃料電池）を一般家庭に導入しました。

ソーダ工場の副生水素をパイプラインで供給することにより、一般家庭に設置した水素供給燃料電池で発電・給湯を行います。

詳しくは、4 - - 「水素タウンモデル事業の実施状況」P49をご覧ください。

事業の概要	水素供給燃料電池の設置、水素パイプラインの敷設	
水素供給燃料電池	種類	非改質タイプ固体高分子形燃料電池
	発電定格出力	700W
	貯油タンク容量	137ℓ
	使用燃料	水素ガス（純度99.99%以上）

・周南市地域新エネルギービジョン（新規）

「森林バイオマス活用による地産・地消型エネルギーシステム具体化検討調査書」の作成

県内でも有数の規模を有する周南市の森林の保全・活用を図る観点から、周南市地域新エネルギービジョン「森林バイオマス活用による地産・地消型エネルギーシステム具体化検討調査書」を作成しました。

詳しくは、4 - - 「周南市地域新エネルギービジョン」P50をご覧ください。

・産業観光ツアーの開催（新規）

全国でも有数の産業が集積している地域の工場等を観光資源として位置づけ、地場企業の産業活動や歴史を見学・体験することにより地域経済の活性化や子どもたちの「ものづくり」に対する興味・関心の喚起を図るために、「産業観光ツアー」を実施しました。

実施主体	周南地域商工会議所産業観光委員会
コース数	20コース（内親子教室6コース）
参加者	695人
協賛企業数	17企業

環境関連産業の創出

・環境関連事業の状況（継続）

市内の企業では、さまざまな環境関連製品の製造等が行われています。このうち、廃棄物の減量化・再資源化に関する取組として、PETボトルのリサイクルやごみ焼却灰のセメント原料化が行われています。

事業所名	取組内容	処理量
帝人ファイバー(株)	PETボトルのリサイクル	10,735 トン/年
山口エコテック(株)	ごみ焼却灰のセメント原料化	41,072 トン/年

地産地消の推進

・地産地消の取り組み（拡大）

「食農総合ビジョン」のアクションプランに基づき地産地消を次のとおり推進しています。

- ・ イベント会場での地元農産物の販売・PR
- ・ 市内朝市・直売所マップの作成
- ・ 市役所本庁舎食堂等による「周南市地産地消の日」のPR
- ・ 「地元農産物を使用した学校給食の日」に、生産者や産地を紹介したチラシを配布
- ・ 「地元農産物を使用した学校給食」及び「地産地消」に関する意識調査の実施
- ・ 都市農村交流事業の支援

（実施団体 棚田清流の会、須金ぶどう梨生産組合）



【周南市食農総合ビジョン】



【朝市・直売所マップ】

3 地球環境の保全

目標：市の事務事業で排出される温室効果ガスの総排出量を平成 20 年度において平成 14 年度レベルから 5%削減します。

温室効果ガス排出量削減対策の推進

- 市役所グリーン購入の状況 (継続) グリーン購入は、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

市役所の用紙とトイレトペーパーのグリーン購入実績の調査結果です。

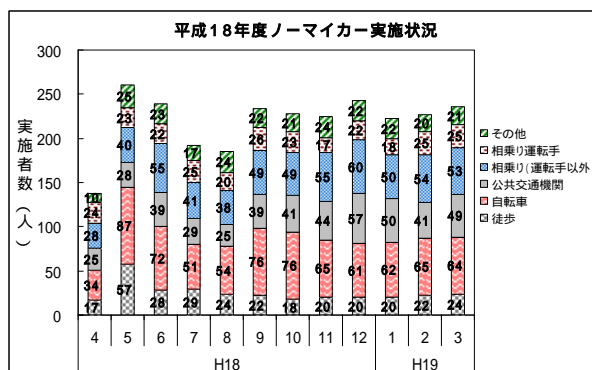
項目	年度	グリーン購入実績	
		用紙	トイレトペーパー
実績値	平成 16 年度	68.5 %	95.8 %
	平成 17 年度	63.6 %	98.5 %
	平成 18 年度	70.7 %	96.8 %
目標値	平成 20 年度	100.0 %	100.0 %

用紙：古紙配合率 100%かつ白色度 70%程度以下
 トイレトペーパー：古紙配合率 100%
 古紙配合率については、各所管が調達した物品の表示によるものです。

- 市役所における温室効果ガス排出抑制事業 (拡大)

クールビズ・ウォームビズ：夏季のノーネクタイ、ノー上着運動、冬季の一枚重ね着運動を実施しました。

ノーマイカーデー：マイカー通勤職員を対象に通勤手段をマイカーから徒歩・自転車、公共交通機関へのシフトの協力を依頼しました。平成 18 年 5 月より、従来第 3 水曜日の 1 日だけに限定していたノーマイカーデーを、第 3 水曜日を含む週のいずれか 1 日を各自が選択して取り組めるようにしました。



ブラックイルミネーション 2006：地球温暖化防止のための国のキャンペーンで施設の照明を消すブラックイルミネーションに市の 11 施設 (徳山駅前噴水、ゆめ風車、徳山東部浄化センター、美術博物館、総合スポーツセンターのモニュメント、菊川浄水場、楠本浄水場、大迫田浄水場、一の井手浄水場、大迫田排水池、東部排水池) が参加しました。

EMS (環境マネジメントシステム) の構築：市の事務事業が、環境に与える負荷を可能な限り低減し、一人ひとりが環境について考え行動し、恵み豊かな環境を将来に引き継ぐ大きな役割を担うことを目指して、EMS の国際規格である ISO14001 の認証を平成 19 年度に取得するため、平成 18 年度から EMS の構築作業を開始しました。

オゾン層保護対策の推進

・環境関連事業の状況

平成 18 年度における実施施策はありません。

酸性雨対策の推進

・市役所エネルギー消費量の状況（継続）

市役所の一次エネルギー消費量は、周南市役所エコ・オフィス実践プランにより平成 20 年度では、平成 14 年度比で 5%削減となっています。

平成 18 年度の一次エネルギー消費量は 588,877 GJ で、平成 14 年度比で 2.5%の増加となりました。目標達成には、42,917 GJ の削減が必要です。

市役所の一次エネルギー消費量

	年 度	一次エネルギー消費量	基準比
基準	平成 14 年度	574,695 GJ	-
	平成 15 年度	582,157 GJ	1.3%増
	平成 16 年度	591,213 GJ	2.9%増
	平成 17 年度	590,629 GJ	2.8%増
	平成 18 年度	588,877 GJ	2.5%増
目標	平成 20 年度	545,960 GJ	5.0%減

出典：周南市役所エコ・オフィス実践プラン平成 18 年度実績報告書

<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/job/kankyo/resultinvest.jsp>

- ・一次エネルギー：石油、石炭、天然ガス、水力、太陽、地熱等自然から直接得られるエネルギーのこと。
- ・二次エネルギー：電気、ガソリン、都市ガス等、一次エネルギーを加工して得られるエネルギーのこと。
- ・GJ（ギガジュール）：J（ジュール）は熱量を表す国際単位。G（ギガ）は 10 の 9 乗を示す接頭語。

平成 18 年度のエネルギー消費に由来する光熱費及び燃料費の合計は 11 億 5 千万円でした。

燃料ごとの経費一覧表

燃料種類	経費	一次エネルギー換算係数
電気	829,759 千円	9.83 MJ/kWh
都市ガス	145,712 千円	41.1 MJ/m ³
LP ガス	17,905 千円	104.1 MJ/m ³
灯油	77,931 千円	36.7 MJ/L
A 重油	31,319 千円	39.1 MJ/L
ガソリン	37,127 千円	34.6 MJ/L
軽油	11,479 千円	38.2 MJ/L
合計	1,151,232 千円	

実施例の紹介

水素タウンモデル事業の実施状況

平成 16 年度から環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」として「周南市地球温暖化防止まちづくりモデル事業」を行ってきました。

その中で、平成 18 年度は「水素タウンモデル事業」に取り組みました。

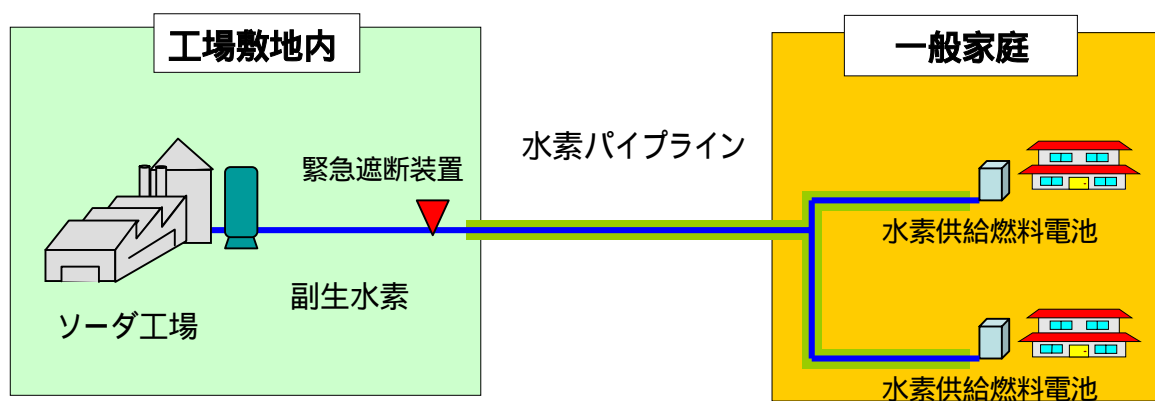
事業の目的

全国最大規模の水素副生能力を有する周南コンビナートの地域特性を活用し、地域の産学公が連携・協働して、二酸化炭素を排出しない非改質タイプの固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステム（水素供給燃料電池）を一般家庭に導入することにより、家庭からの二酸化炭素発生量を削減することを目的としています。

事業の概要

ソーダ工場の副生水素をパイプラインで供給し、一般家庭に設置した水素供給燃料電池で、発電・給湯を行います。

18 年度は、コンビナート企業から一般家庭までの水素供給配管の敷設、一般家庭 2 世帯に 700W の水素供給燃料電池を設置しました。



【事業概略図】



【工場からの
水素配管】



【埋設管】
(二重管)



【水素供給燃料電池コージェネレーションシステム】

周南市地域新エネルギービジョン

「森林バイオマス活用による地産地消型エネルギーシステム具体化検討調査書」の作成

県内でも有数の規模を有する周南市の森林の保全・活用を図る観点から、森林バイオマス（間伐材や林地残材など）の回収、及び有効利用（エネルギー転換）を促進し、資源循環型エネルギーシステムの構築、環境整備を推進するため、平成 19 年 2 月に「森林バイオマス活用による地産・地消型エネルギーシステム具体化検討調査書」を作成しました。



【プロセッサ】



【フォワーダ】

具体的には、森林バイオマスの低コスト収集・運搬・流通システムの検討を行い、また周南地域コンビナート企業と連携を図り、付加価値の高いバイオマス燃料の供給、及び積極的な利用を図ります。カーボンニュートラルの森林バイオマスを活用することで CO₂ の排出を抑制、環境へ寄与し、また森林バイオマス関連の環境調和型産業の創出、中山間地域の活性化への寄与も期待できます。



【チップ】



【チップボイラ】



【ペレット】



【ペレットストーブ】

市営路外駐車場のE S C O事業の実施状況

市営路外駐車場の改修をE S C O (エスコ)事業で実施しました。平成 16 年度にエネルギー削減効果の高い施設を選定し、事業化に向けた試算 (詳細は、周南市公共施設省エネルギー改修プラン) を行った結果、『徳山駅前駐車場』及び『代々木公園地下駐車場』に、市として、初めてE S C O事業を導入しました。

具体的には、一酸化炭素濃度制御及びインバータの導入、高効率モータ及び省エネルギーの導入、事務所への全熱交換器導入、照明の高効率化、エネルギー管理装置の導入、節水器具の導入、小型風力太陽光発電の導入を実施し、61%の省エネ効果が出ています。



【小型風力太陽光発電装置】

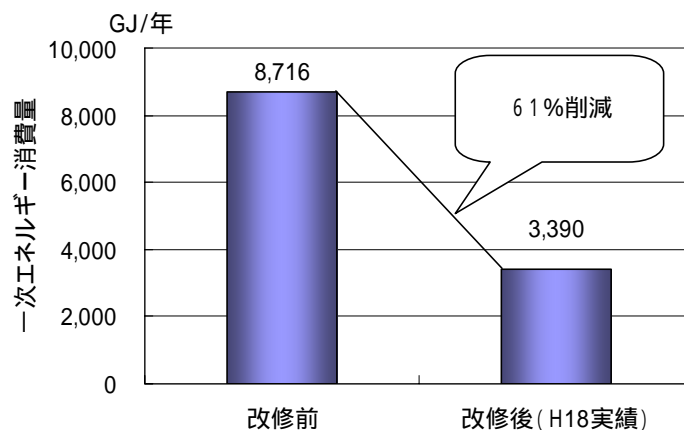


【定期的实绩を表示】

市営路外駐車場のE S C O事業の効果

	改修前 (基準)		改修後 (18 年度実績)	
	電気	都市ガス	電気	都市ガス
使用量	886,400 kWh	72 Nm ³	344,920 kWh	1 Nm ³
一次エネルギー消費量	8,713 GJ/年	3 GJ/年	3,390 GJ/年	0 GJ/年
温室効果ガス排出量	573 トン-CO ₂	0 トン-CO ₂	223 トン-CO ₂	0 トン-CO ₂

市営路外駐車場のE S C O事業の効果 (平成 18 年度実績)



詳しくは、生活安全課または下記ホームページまで

<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/job/kankyo/esco.jsp>

5 . 一人ひとりが 環境について考え 行動するまちづくり



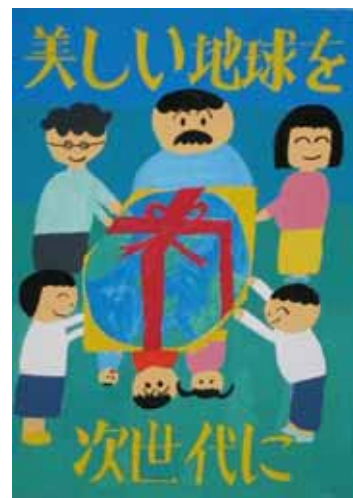
岐山小 5年 竹村勇輝さん



熊毛中 2年 佐々木有華さん



福川南小 5年 村井菜々さん



翔北中 2年 魚谷なつみさん

環境の現況

1 市の環境関連イベント等の実施

環境イベントの開催

水辺の教室、元気こどもゆめまつり、ごみ処理施設見学バスツアー、ツルのねぐら整備ボランティアなどを開催しています。他にも次の表のような、地産地消、ホテル、農業体験、星空観察、清掃活動、リサイクルをテーマとした各種環境関連のイベントを実施しています。

環境関連イベント（平成 18 年度）

月 日	名称 / 内容	主催・主管
4月～3月	大地を耕し作物をつくる家族のつどい等 / 詳細 P28	大田原自然の家
4月～3月	農業体験、加工教室等 / 詳細 P29	豊鹿里パーク
4/8	桜の高瀬湖クリーンウォーク / 桜の咲く高瀬湖周辺道をごみ拾いウォーキング	新南陽総合支所 産業振興課
4/23、6/11	西緑地公園樹木観察会 / 樹木の観察を通じ、公園の魅力を再発見	都市整備課
5月～3月	TOKUYAMA ZOO CLASS / 詳細 P35	徳山動物園
5月～12月	農業体験交流 / 四季折々に変化する美しい棚田が広がる中須北地区で、地域の人々と一緒に農作業（田植え、稲刈り、野菜づくり、収穫祭など）の体験 / 詳細 P34	農政課
5月～9月	ブドウづくり / 須金のブドウ畑で、地元の人に指導を受けながらブドウづくり	農政課
5/5～7 6/2～4 7/28～30 9/29～10/1	星空観望会 / 月、木星、土星や春の星座の観察 月や金星、木星、天の川、夏の星座の観察	鹿野公民館
5/27	「生きものと人・共生の里」を考える会議 / 詳細 P21	
5/27	親子で地元の干潟に親しむ / 子供たちに干潟に親しんでもらうことを目的に、潮干狩りや宝探しを実施	
6/1～6/7	浄水場施設の見学	大迫田、楠本浄水場
6/1～6/7	水道週間「水の教室」 / 水をきれいにする仕組みや水道局の仕事、水の大切さを学習する。	水道局
6/9～10	ほたる観賞の夕べ	大道理公民館
6/10	長穂ほたる祭り	長穂公民館
6/10	トワイライトフェスティバル	和田公民館内トワイライトフェスティバル実行委員会

《5 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

月 日	名称 / 内容	主催・主管
6/10	ホテルの夕べコンサート(せせらぎパーク)	鹿野総合支所 産業振興課
6/17	大潮ほたる祭り	大潮ほたる祭り実 行委員会
7/1 11/18	地域景観ワークショップ in 周南 / 詳細 P32	都市計画課
7/13	徳山、下松、光、新南陽港区クリーン作戦	商工観光課
7/18	トラフグの稚魚の放流 / はえ縄漁の発祥地、給島で小中学生によ り稚魚の放流	
7/26	森と湖に親しむ集い / 水辺の教室や魚の放流など / 詳細 P31	新南陽総合支所産 業振興課・鹿野総 合支所産業振興課
7/26 8/2 8/23	徳山動物園のサマースクール / ポニーやマルミミゾウ、ライオン など動物達の世話(部屋の掃除や餌やり)や観察	徳山動物園
7/27 8/3 8/24	産業観光ツアー夏休み親子教室 / 詳細 P45	商工観光課 周南地域 4 商工会議所
7/30	天文教室 / 天体望遠鏡の仕組みと扱い方、天体(恒星、星座、太 陽系など)について	鹿野公民館
8/2	夏休み子どもサイエンス教室 / 徳山高専助教授を講師に迎え、小 学生を対象に「生き物形作り」について学ぶ	中央図書館
8/12	夜間開園の特別企画 ふくろうの住む森へようこそ	徳山動物園
8/22~11/28	地域環境アドバイザー養成講座(全9回) / 県立大学の教授や助 教授を講師に向かえ、環境について考える講座を開催	企画課 周南サテライトルッジ 事 務局
8/22	工場の見学と船からの周南コンビナート望見ツアー	生涯学習課
8/26~27	ZOOナイトキャンプ	徳山動物園
9/16~30	周南市市政だより エコドライブで地球にやさしく / 詳細 P15	環境政策課
10/7	無料開園	徳山動物園
10/7	ツルのねぐら整備ボランティア / 詳細 P23	鶴いこいの里交流 センター
10/15	かのふるさとまつり / 地場産品・地元農産物の展示販売など 環境に配慮したまつり	鹿野総合支所 産業振興課
10/15	元気こどもゆめまつり / 詳細 P67	元気こども課
10/22	やまぐち森林づくりフェスタ / 森・川・海の特産品の試食、竹と んぼ等の制作や炭焼き体験	山口県、林政課

《5 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

月 日	名称 / 内容	主催・主管
10/28	市民活動おいでん祭 / 市民活動団体の活動紹介、リサイクル工作教室	市民活動推進課
11/4~5	新南陽ふるさとふれあい物産展 / 地場産品・地元農水産物の展示販売など	新南陽総合支所 産業振興課
11/25	ふるさと物産展と健康まつり / 県内各地の特産品などの販売など	熊毛総合支所 産業振興課
11/11~12	ルーラル 315・376 フェスタ / 国道 315・376 号沿線の朝市や催しを結ぶ広域イベント、朝市や体験コーナーの開催	農政課
11/11~12	ブックリサイクルフェア / 図書館で不用になった図書を無料で譲渡	鹿野図書館
11/18	紅葉の高瀬湖クリーンウォーク / 紅葉を満喫しながら、高瀬湖周辺道をごみ拾いウォーキング	新南陽総合支所 産業振興課
11/25	おみせやさん体験 / 地元野菜の販売体験	ふるさと産品の店 こあ
12/12 12/14	ごみ処理施設見学ツアー(燃やせないごみコース) / 詳細 P68 (燃やせるゴミコース)	廃棄物リサイクル課
1/26	漢陽寺消防訓練 / 詳細 P32	生涯学習課

出典：広報「しゅうなん」より環境政策課調べ

2 Kids ISO参加状況

Kids ISO参加状況

国際芸術技術協力機構（アーテック）が、日本及び世界各国に対して展開している子ども向けの環境マネジメントプログラムであり、唯一ISO（アイエスオー）の名称の使用を許されている児童・生徒用学習教材です。

自分で考え、自分で行動し、その結果をチェックして、PDCAサイクルの基本を体験します。周南市では93人の小学生に配布しました。

3 環境関連の団体数及び人数

こどもエコクラブの団体数及び人数

登録すると、子どもたちが地域の中で楽しみながら、環境保全活動や学習を行うため、いろいろな資料の配布などの各種支援を受けることができる制度です。

平成18年度における登録数は5団体、131人です。

クリーンネットワークの団体数及び人数

ゴミの散乱が見られないきれいなまちづくりは、快適な生活環境を守るうえで、非常に重要なことです。「周南」のイメージを形成する点においても、まちの清潔度は、大きな比重を占めるものです。クリーンネットワーク推進事業は、その実現に向けて、公共施設をボランティアで管理する「里親制度」を導入し、市民の皆さんと市が一体となった環境美化活動を強力に推進しようとするもので、ボランティア団体・グループの活性化を図ることを目的とするものです。

道路や公園を「子ども」に見立て、市民の皆さんに親代わりになっていただき、我が子へ注ぐ愛情と同様な愛情で、公共施設のお世話をしていただくものです。市はゴミ袋の支給、収集ごみの回収、清掃美化活動中のケガなどに適用される保険（見舞金）の手続き、清掃用具の支給、ボランティア団体及びグループ名を記した表示板の設置、広報活動を担当し、市民と行政が連携して、清掃美化活動を推進します。

平成18年度におけるクリーンネットワークの登録数は、42団体、1,616人です。

4 ISO14001の認証取得

市役所のISO14001認証取得状況

・市役所のISO14001認証取得状況

下表に示す項目を実施し、市の環境マネジメントシステムを構築しました。

ISO14001認証取得事業の取組状況（平成18年度）

年月日	実施項目 / 概要
H18. 5.30	ISOセミナー / 環境ISO山口倶楽部 主催セミナーを市職員2名が受講しました。
H18. 7.18	ISO14001認証取得キックオフ宣言 / 市長から、市役所全庁を対象とした平成19年度12月までの認証取得の宣言がありました。
H18. 7.19	ISOスリム化セミナー / 環境ISO山口倶楽部 主催セミナーを市職員2名が受講しました。
H18. 9. 6	環境マネジメントシステム入門講座 / 環境ISO山口倶楽部 主催セミナーを市職員2名が受講しました。
H18.11.20	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度説明会受講 / 環境ISO山口倶楽部 主催セミナーを市職員3名が受講しました。
H19. 1.16 ～ 2.26	EMS研修（全職員対象） / 1,487名の市職員を対象に21回のEMS導入教育を実施しました。
H19. 1.24	「周南市環境マネジメントシステム規程」及び「周南市環境マネジメントシステム運営マニュアル」の制定 / H19.4.1から施行の環境管理マニュアルを作成しました。
H19. 3. 1 ～ 3.15	環境内部監査員研修「養成研修」 / 環境内部監査員候補者21名を対象に3回の教育を実施しました。

環境ISO山口倶楽部：企業や行政のISO14001等の環境マネジメントシステム（EMS）の認証取得を促進し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会づくりに寄与することを目的とした団体です。事務局が山口県環境政策課に置かれ、入会（年会費：団体5,000円）すると、研修会・講習会の受講のほか、メールなどによる情報入手ができます。周南市は当該倶楽部幹事です。詳しくは、山口県HP（<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/iso/isoclub.htm>）

市内企業のISO14001認証取得状況

財団法人日本適合性認定協会ホームページのISO14001適合組織検索等によると、市内でISO14001認証取得している事業所は76件でした。

《5 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

市内 ISO14001 適合組織（平成 19 年 12 月 12 日調査）

		組織（企業）名	所在地
ア	1	赤坂印刷株式会社本社、新南陽工場及び徳山工場	馬神松川 854 番 1、西松原四丁目 4 番 35 号
	2	株式会社あかつき	久米西神女 3218 - 2
	3	株式会社アサヒテクノリサーチ 山口営業所	新宿通五丁目 3 番 23 号
	4	株式会社アストム 周南ワークス	御影町 1 番 1 号
	5	有限会社アライ	政所 4-16-21、畳工場：政所 4-14-2
	6	イオンクレジットサービス株式会社 山口営業所	本町 1 丁目 3 番地 大同生命徳山ビル 8 階
	7	イシン株式会社	入船町 7 - 10、直販ショップ・リフォームドクター天窓：入船町 7-10
	8	株式会社イチキン	大字栗屋 786 番地の 1
	9	出光興産株式会社 徳山製油所・徳山工場	新宮町 1-1
	10	エコシステムジャパン株式会社 徳山営業所	権現町 3 - 10
	11	大村印刷株式会社 周南営業所	上遠石 11 - 39
カ	12	柏原塗研工業株式会社 徳山営業所	西松原四丁目 1 番 27 号
	13	株式会社クマヒラ 徳山営業所	野上町 1-20
	14	株式会社合人社計画研究所 周南支店	糺町 2-28
	15	コニカミノルタホールディングス株式会社 徳山 S S	桜木 3 - 5 - 76
	16	コバレントマテリアル徳山株式会社	江口 2 丁目 1 番 32 号
17	小山株式会社 大阪支店 徳山営業所	遠石 3 - 9 - 37	
サ	18	サン・アロー化成株式会社 徳山工場	晴海町 1 番 2 号
	19	サン・トックス株式会社 徳山工場	晴海町 7 番 7 号
	20	株式会社ジャスパー	福川南町 1 番 1 号
	21	周南総合リサイクル株式会社 本店	大字久米 1172 番の 7
	22	周南水処理株式会社	築港町 6 番 10 号
	23	昭和電工株式会社 徳山事業所	開成町 4980 番地
	24	信越ポリマー株式会社 南陽工場	開成町 4985
	25	新第一塩ビ株式会社 徳山工場	晴海町 1 番 2 号
	26	生活協同組合コープやまぐち	コープとくやま：大字徳山 5818-46、周南センター：大字久米 978-8
	27	ゼオン徳山サービス株式会社	那智町 2-1
	28	ゼオン山口株式会社 分析センター	那智町 2-1
タ	29	太華工業株式会社 本社	弥生町 2 丁目 18 番地、南陽工場：野村 3 丁目 19 - 46
	30	株式会社タダオ	浜田 1 丁目 6 番 3 号
	31	株式会社ただおザウルス	浜田 1 丁目 6 番 5 号
	32	タマ化学工業株式会社	晴海町 7 番 22
	33	中外テクノス株式会社 山口支店	築港町 5 - 27
	34	中国電力株式会社 周南電力所	大字徳山字福田寺原 4713 番地、周南制御所：大字徳山字福田寺原 4713 番地
	35	中国特殊株式会社（中国特殊グループ）	大字久米 3078 番地の 1
	36	椿本西日本株式会社 徳山営業所	鼓海 2 丁目 118 番 44 号
	37	帝人ファイバー株式会社 徳山事業所	由加町 1 番 1 号

《5 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

	組織(企業)名	所在地
	38 東亜道路工業株式会社 中国支社 山口営業所	呼坂 599-2
	39 東芝プラントシステム株式会社 山口営業所	御幸通り 2-22 徳山中国新聞ビル
	40 東ソー株式会社 南陽事業所	開成町 4560 番地
	41 株式会社トクヤマ 徳山製造所	御影町 1 番 1 号
	42 株式会社トクヤマ エムテック 徳山工場	御影町 1 番 1 号
	43 徳山海陸運送株式会社	築港町 2-18
	44 株式会社トクヤマシルテック	晴海町 7 番 38 号
	45 徳山積水工業株式会社	開成町 4560
	46 株式会社徳山ビルサービス	大字栗屋 50 番地の 11
	47 徳山ポリプロ株式会社 徳山工場	晴海町 1 番 1 号
	48 凸版印刷株式会社西中四国事業部 山口営業所	御幸通 2 - 18 徳山朝日生命ビル 7 F
	49 株式会社 巴商会 山口出張所	梅園町 2 - 45
ナ	50 中石産業株式会社 徳山営業所	入船町 5 - 23
	51 株式会社長崎塗装店 山口支店	江口 3 - 1 - 5
	52 株式会社ナガミ	西松原 1 丁目 44 - 2
	53 株式会社南陽金属	川手 1 丁目 1 番 5 号
	54 日新興業株式会社 徳山営業所	栄町 2 丁目 17 番地
	55 日新製鋼株式会社 周南製鋼所	野村南町 4976 番地
	56 日本化学工業株式会社 徳山工場	晴海町 1 番 2 号
	57 日本紙通商株式会社 徳山営業所	御幸通 1 - 10
	58 日本精蠟株式会社 徳山工場	大字大島 850
	59 日本ゼオン株式会社 徳山工場	那智町 2 番地 1 号
	60 日本ポリウレタン工業株式会社 南陽工場	開成町 4530 番地
ハ	61 株式会社ピークルーエッセ	新地 3 丁目 5 番 18 号
	62 日立プラント建設サービス株式会社 山口出張所	御幸通り 1-5 (住友生命徳山ビル)
	63 広島和光株式会社 徳山営業所	久米字沖角田 3039 番地-1
	64 復建調査設計株式会社 周南営業所	花畠町 1-10
	65 株式会社藤井興業(中国特殊グループ)	宮の前 2 丁目 2 番 12 号
	66 富士事務器株式会社	みなみ銀座 2 丁目 28 番地
	67 富士フィルムメディカル株式会社 徳山営業所	今住町 18
	68 保土谷化学工業株式会社 南陽工場	福川南町 1 番 1 号 分工場：開成町 4530 番地
	69 保土谷ロジスティクス株式会社 南陽営業所	福川南町 1 番 1 号
	70 株式会社堀場製作所 山口サービスステーション	宮の前 2-7-12 第 8 松本ビル 1F
マ	71 株式会社みうら 本社	野村三丁目 24 番 1 号
	72 三井化学ポリウレタン株式会社 徳山工場	徳山港町 3 番 1 号
	73 ミディ総合管理株式会社 周南事業所	銀座 2 丁目 14 番地 近鉄松下百貨店
ヤ	74 株式会社山産 徳山営業所	野上町一丁目 4 番地
	75 洋林建設株式会社	平和通り 1-26
	76 株式会社吉本興業(中国特殊グループ)	大字久米 3044 番地の 2

組織(企業)名及び所在地は、ホームページのまま掲載しています。

市内の ISO14001 認証取得している企業で、掲載を希望される方は環境政策課までご連絡ください。

基本施策の実施状況

1 環境教育・環境学習の推進

目標：環境教育・環境学習の基盤整備を進め、あらゆる場における学習の機会の拡充をめざします。

環境教育・環境学習の基盤整備

・環境アドバイザー等の登録数（継続）

山口県では地域で行われる環境に関する学習会、講演会等を利用した環境に対する体験学習、工作教室等に対し、「環境アドバイザー(講演型環境学習指導者)」又は「環境パートナー(体験型環境学習指導者)」を派遣する制度です。

また、環境省のエコクラブ事業に基づき新たに設立されるこどもエコクラブや既存のこどもエコクラブに対し、運営面及び実践活動について指導及び助言を行う「こどもエコクラブアドバイザー」を派遣しています。

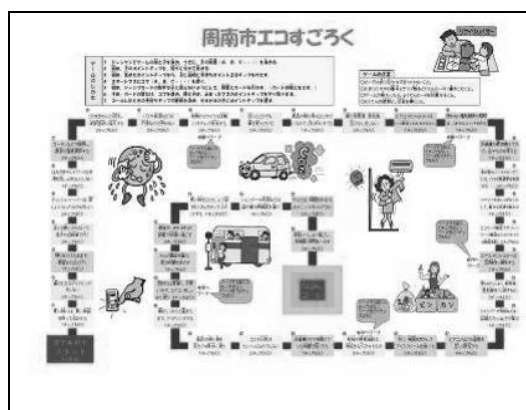
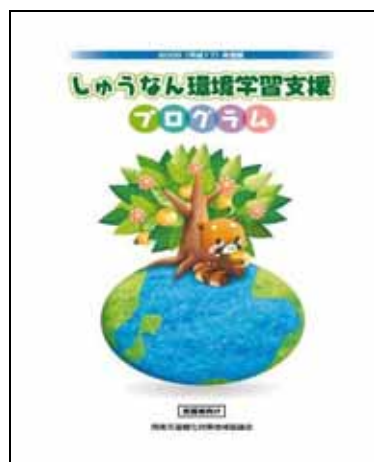
周南市在住の「環境アドバイザー」 … 4人

周南市在住の「環境パートナー」 … 5人

周南市在住の「こどもエコクラブアドバイザー」… 3人

・環境学習支援プログラム、周南市エコすごろくの利用促進（拡大）

従来の管理型から学習者主体の創意工夫を引き出す環境学習に対応していくため、児童・生徒の自発的な環境学習の取組みを応援し、支援していく仕組みとして、周南市環境学習推進協議会にて平成18年3月に「しゅうなん環境学習支援プログラム」「子ども向け」と「支援者向け」,「周南市エコすごろく」を作成しました。



平成18年度は、周南市内の小・中学校へ紹介・配付をして利用促進を行いました。

<http://www.city.shunan.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyo/guide/program.jsp>

環境教育・環境学習の拡充

・地球温暖化防止おもしろ講座の実施（新規）

（けんちゃんの環境教室）

保育園、幼稚園、小学校を対象として、曾我邦雄（環境まなび研究所）さんによる地球温暖化防止おもしろ講座を10/20～2/9の間に全10回実施をしました。

手品、ゲーム、クイズ等を組み合わせ、参加者（園児、児童、保護者）の興味を持たせながら、楽しく学ぶことが出来ました。

詳しくは、5 - - 「地球温暖化防止おもしろ講座」P66をご覧ください。

・周南市エコすごろくの利用促進（新規）

平成17年度に周南市環境学習推進協議会にて作成した「周南市エコすごろく」の利用促進を図ることを目的に、取り組み方法等を作成し、周南市内の小・中学校へ紹介をして利用促進を行いました。

地球温暖化防止おもしろ講座に参加した保育園、幼稚園、小学校にも配付しました。

配付した保育園、幼稚園、小学校 13園、校

総合的な学習で取り組んだ小学校 5校

なお、平成18年10月15日に鹿野地域において開催されました「元気子どもゆめまつり・エコ遊びコーナー」において68人が参加されました。

また、平成19年1月30日にしゅうなん出前講座において「野ばらの会」が15名の参加でエコすごろくを楽しみながら地球温暖化防止について考えました。



【総合的な学習にて
エコすごろくの実施】

・しゅうなん出前トークの開催（拡大）

市の施策や事業などについて、設定したテーマについて、市職員が説明する「しゅうなん出前トーク」を実施しました。

実施日	テーマ	申込団体	参加者
H18 4/27	ごみの分け方・出し方	沼城小学校 (4年生)	80人
5/23	ごみの分け方・出し方	勝間ふれあい センター	27人
7/25	ごみの分け方・出し方	新南陽老人 福祉センター	23人
7/26	ごみの分け方・出し方、 家庭でできるごみを減らす方法	戸田地区市東 ふれあいサロン	19人
9/21	周南市環境基本計画について 周南市の環境について	洋林建設	80人
9/27	ごみの分け方・出し方、 家庭でできるごみを減らす方法、 今後10年間のごみ処理計画	桜田中学校 (3年生)	62人
12/15 12/20	ごみの分け方・出し方(4回実施)	徳山総合ビジネ ス専門学校	60人
H19 1/30	周南エコすごろく	野ばらの会	15人
3/22	周南リサイクルプラザについて	徳山ロータリー クラブ	45人

・水の教室の実施（継続）

平成18年6月1日～7日の水道週間を中心に、小学4年生（保護者を含む。）を対象に水を循環資源と捉え、下水浄化センターと連携しながら実施し、9校、598人の参加がありました。



【水の教室】

2 環境配慮行動の推進

目標：各主体が自主的かつ積極的な環境配慮行動の実践をめざします。

環境に配慮した行動の支援

・市民節電所事業の実施（継続）

地球温暖化を防止するには、一人ひとりライフスタイルを見直し、エネルギー消費量を少なくすることが大切です。市民節電所事業として、各家庭の夏期の電気使用量を前年より減らすと、グループに活動支援金を支給する制度を実施しました。

詳しくは、5 - - 「市民節電所の実施状況」P69 をご覧ください。

・地球温暖化防止活動診断の実施（継続）

市は、山口県及び山口県地球温暖化防止活動推進センターと共同で、診断員が各家庭の状況を訪問調査し、身近で具体的な地球温暖化防止のための実践活動（省エネ手法等）をアドバイスする事業を実施しました。

市内で平成 18 年度の診断を実施した対象者は 77 世帯でした。

環境保全団体の支援

・資源物回収の実施団体数（継続）

平成 18 年度は、市内で 111 団体が資源物回収団体として活動されています。

環境に配慮した事業活動の推進

・元気こどもゆめまつり（環境に配慮したまつり）の開催（新規）

子どもを中心とした幅広い年齢層の市民の参加、交流を目的とした市民参加型のイベントで、平成 18 年 10 月 15 日に鹿野地域において開催しました。

この事業を環境に配慮したまつりとして宣言し、廃棄物の削減等に努め、環境意識の向上、市民の一体感の醸成を図ることが出来ました。

詳しくは、5 - - 「元気こどもゆめまつり」P67 をご覧ください。

<p>3 環境美化活動の推進</p>	<p>目標：地域の環境美化活動を推進し、潤いと安らぎのある地域環境の創出を目指します。</p>
<p>環境美化意識の浸透</p>	
<p>・しゅうなん出前トーク（拡大）</p>	
<p>・【再掲】 5 - - 1 - 「しゅうなん出前トークの開催」 参照</p>	
<p>・市広報・市HPへの掲載（継続）</p>	
<p>6月1日号の市広報に、6月の住環境衛生推進月間に合わせて、環境美化、害虫駆除、不法投棄防止について掲載しました。</p>	
<p>環境美化活動の支援</p>	
<p>・地域一斉清掃等の支援（継続）</p>	
<p>平成18年度は、290件の地域一斉清掃が行われました。</p>	
<p>・クリーンネットワークの活動の支援（継続）</p>	
<p>市は、クリーンネットワークの活動支援として、ゴミ袋、清掃に必要な用具類の支給 ボランティア活動保険の加入 里親名を記した表示板の設置 ゴミの回収を行いました。</p>	

実施例の紹介

地球温暖化防止おもしろ講座（けんちゃんの環境教室）の実施状況

市内の保育園、幼稚園、小学校を対象として、環境まなび研究所の曾我邦雄さんによる地球温暖化防止おもしろ講座を10/20～2/9の間に全10回実施をしました。

手品、ゲーム（ビンゴ、すごろく、カルタ、トランプ）、クイズ、歌（地球応援歌）を組み合わせ、水の大切さ、節水作戦、現在のごみ問題、ごみの減量作戦等を教わり、自分で考え、物を大切にすることが地球温暖化防止についてつながることを学びました。

地球温暖化防止おもしろ講座（けんちゃんの環境学習）実施状況

	園、学校	学年	人数	実施日	講座名
1	周陽小学校	2年	70	10月20日	命の水 生きていくには何がなくても水が絶対必要
2	岐山小学校	5年	81	10月27日	ごみ問題、ごみ減量作戦
3	戸田小学校	4年	30	10月28日	エコ学習広場（すごろく、ジグザグパズル）
4	富田南保育園	年長、年中	34	11月1日	地球は水の惑星 私たちの使える水の量は
5	湯野幼稚園	4歳、5歳	16	11月2日	地球は水の惑星 私たちの使える水の量は
6	勝間保育園	年中、年長	40	11月9日	巨大環境スゴロク
7	河原幼稚園	年長	90	12月19日	地球は水の惑星 私たちの使える水の量は
8	戸田小学校	1年	23	19年1月16日	地球は水の惑星 私たちの使える水の量は
9	岐山小学校	5年	81	1月17日	命の水 生きていくには何がなくても水が絶対必要
10	富田東幼稚園	年長	39	2月9日	地球は水の惑星 私たちの使える水の量は



【地球がこれくらいだったら？】



【さて、クイズです】



【巨大環境スゴロク】



【巨大地球パズル】

元気こどもゆめまつり（環境に配慮したまつり）の実施状況

子どもを中心とした幅広い年齢層の市民の参加、交流を目的とした市民参加型のイベントで、この事業を環境に配慮したまつりと宣言して、廃棄物の削減等に努め、環境意識の向上、市民の一体感の醸成を図ることが出来ました。

とき 平成 18 年 10 月 15 日（日）

ところ 鹿野総合体育館周辺

参加者 約 5,000 人



【空き缶モニュメント】

環境に配慮したイベント実施状況

イベント名（事業名）	イ ベ ン ト 内 容
空き缶で作るモニュメント	参加者が自宅から持ち寄った空き缶で作る周南市のモニュメント (8m x 8m)
空き缶プレスカーの実施	空き缶をアルミ缶とスチール缶に選別し、それぞれ押しつぶして 200 個 ひとつかたまりのブロックする過程の実演
エコ風船とばし	子どもにマジックで「ゆめ」を書いてもらい夢がかなうように風船を一 斉に飛ばす (エコ風船は自然に分解される環境にやさしい紙ふうせん)
エコ遊びコーナー	牛乳パック等リサイクル用品を使用しおもちゃの作成 周南市エコすごろくの実施
ごみ分別持ち帰り運動	中学生クリーンリーダーを中心とした運動
キッズフリーマーケット	子どもが店主での不用品リサイクルバザー
ミニ動物園	うさぎに触ったり、ポニーに乗ったりながら、餌を食べる様子を観察
食べ物バザー	地元で生産された産品、特産品を使った食べ物バザー
ネイチャーゲーム	風の音を気持ちよく感じ、木の中を流れる水の音を聞いたりしながら、 家族で楽しむ
廃材を利用した工作	トントン、カチカチ 木の廃材を利用して本棚等の作成
自然のものでクラフトづくり	どんぐりや松ぼっくり、自然のものを使ってもの作りをする。
交通来場方法	イベント会場までの公共交通機関の利用を呼びかけ、乗車証明書を発行 し、イベント通貨と交換



【エコすごろく】



【ごみ分別持ち帰り】



【エコ風船とばし】

ごみ処理施設見学バスツアーの実施状況

「家庭ごみのゆくえを見学する、日帰りバスツアー」を下記のとおり2日間開催し、ごみ処理施設の見学を行いました。

見学コース・開催日は次のとおりでした。

燃やせないごみコース 12月12日（火） 参加者38人

桑原不燃物処分場

徳山リサイクルセンター

株式会社トクヤマ徳山製造所・南陽工場

帝人ファイバー株式会社 徳山事業所

燃やせるごみコース 12月14日（木） 参加者30人

ごみ燃料化施設フェニックス

東ソー株式会社 南陽事業所

恋路クリーンセンター

山口エコテック株式会社



【徳山リサイクルセンター】



【ごみ燃料化施設フェニックス】

市民節電所の実施状況

周南市市民節電所グループ向け事業に2団体66世帯が参加されました。

市民節電所グループ向け事業参加団体一覧

市民節電所 名称	参加世帯数	支援金の使途
住崎町東部自治会	53 世帯	会活動費
徳山友の会	13 世帯	会活動費

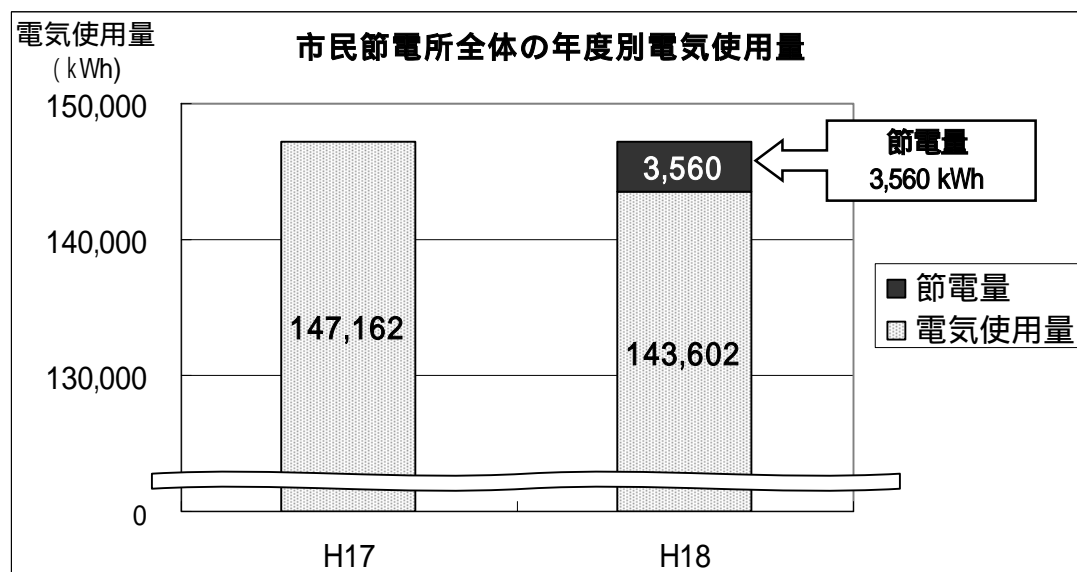
周南市市民節電所個別世帯向け事業に5世帯が参加されました

市民節電所全体の平成18年7月～10月の電気使用量は、147,162 kWh（グループ向け、140,768 kWh 個別世帯向け、6,394 kWh）で、平成18年7月～10月の電気使用量は、143,602 kWh（グループ向け、137,863 kWh 個別世帯向け、5,739 kWh）でした。

市民節電所による節減量は、3,560 kWh で、2.4%の削減が得られました。この削減量は、二酸化炭素排出量が1,976 kg-CO₂¹削減されたこととなります。これは、141本²の杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。

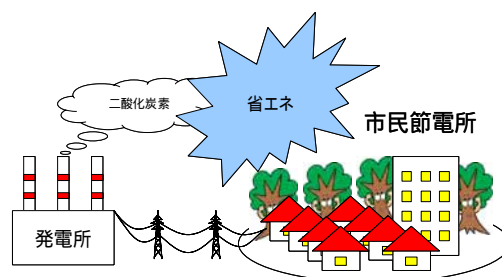
- 1 地球温暖化対策の推進に関する法律 施行令より
- 2 環境省/林野庁 地球温暖化防止のための緑の吸収源対策より

市民節電所全体の年度別電気使用量



市民節電所に参加された団体から、次のような節電のコツを教えてくださいました。

- ・ 早寝早起き
- ・ 毎日電気メーターを見て、前日の使用量と比較する
- ・ エアコンの使用を減らす、なるべく使わない
- ・ 待機電力を減らすため、主電源を切る
- ・ テレビを見る時間を1時間減らす
- ・ 家族に協力してもらう
- ・ 必要ないときには、こまめに電気を消す
- ・ エアコンはコンセントを抜く



周南市環境政策課 行

環境報告書（平成19年版）を、ご覧いただきありがとうございます。報告書をより有効なものとするため、広く皆さまからご意見、ご感想を募集しています。環境報告書の次年版以降を作成する際の参考とさせていただきます。アンケート等にご記入のうえ郵送、ファックスまたは電子メールでお送りください。

Q1 本報告書をご覧になってどのようにお感じになりましたか。（ひとつだけ選択）

良く出来ている

普通

あまり良くない

Q2 本報告書へのご意見・ご感想など、ご自由にご記入ください。

--

Q3 本報告書をどのような立場でお読みになられているか教えてください。（複数回答可）

周南市の市民として

環境活動団体として

報道関係者として

周南市の市民ではないが

業務（環境担当として）

行政関係者として

学生として

業務（環境担当ではない）

その他（ ）

Q4 本報告書の存在は、何を通じてお知りになりましたか。（複数回答可）

新聞

テレビ

ラジオ

雑誌

ホームページ

知人

その他（ ）

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下記欄にもご記入ください。

（フリガナ）

お名前

ご住所（勤務先ご住所）

〒 -

ご職業（勤務先）

部署

お電話番号

E-mail